

本 編

図表 I-1-1

リニア中央新幹線関連年表

国・県外・J R 東海の動き		長野県内の動き		飯田下伊那地域の対応	
<1973> 昭和 48. 11. 15	運輸大臣 基本計画を決定 ●区間 東京～大阪間 約500km ●主要経路地 甲府市、名古屋市の各付近				
<1974> 49. 7. 16	運輸大臣が国鉄に対し、地形・地質等に関する調査の指示(甲府市、名古屋市付近)。	昭和 49. 9. 27	長野県議会で「リニア中央新幹線の建設促進に関する意見書」を可決。 ・県内通過の意見書		
<1975>		49. 10. 7	中央新幹線建設促進期成同盟会結成。(会長:飯田商工会議所会頭)		
<1977>		50. 11. 9	中央新幹線建設促進期成同盟会長に長野県知事が就任。		
		52. 7. 14	長野県議会で「リニア中央新幹線の建設促進に関する意見書」を可決。 ・飯田市通過の意見書		
<1978> 53. 10. 31	地形・地質等に関する調査の中間報告として、長野県内に おける建設可能なルートとして3ルートを提示。 ・A (木曽谷)、B (伊那谷)、C (南アルプス) ルート	53. 10. 2	長野県議会で「リニア中央新幹線の建設促進に関する意見書」を可決。 ・整備計画路線への格上げと県内通過の意見書		
<1979> 54. 11. 7	中央新幹線建設促進期成同盟会結成(会長:愛知県知事)。	54. 11. 5	中央新幹線建設促進期成同盟が中央新幹線建設促進長野県期成同盟会に名称変更。		
<1982>		57. 6. 30	長野県議会で「中央新幹線の格上げ及びリニアモーターカー実験線の誘致に関する意見書」を可決。		
<1987> 62. 4	国鉄改革により J R 各社に分割・民営化。				
<1988> 63. 8. 24	中央新幹線建設期成同盟会の名称を「リニア中央エクスプレス建設促進期成同盟会」に変更。	63. 7. 4 63. 9. 8	飯伊・上伊那・諏訪の三地区代表が県内(B)ルートに統一。県へ要望する。 長野県議会で「中央リニア新幹線の建設促進に関する意見書」を可決。		
<1989>		平成 元. 6. 16	リニア中央エクスプレス建設促進長野県協議会が、県内ルートは伊那谷(B)ルートすることを決議。		
<1990> 平成 2. 2. 6	運輸大臣が鉄道建設公団・J R 東海に対し地形・地質等に関する調査の指示(東京・大阪間)。	元. 6. 27 2. 3. 9	長野県議会で「中央リニア新幹線の建設促進に関する意見書」を可決。 長野県議会で「リニア中央新幹線の建設促進に関する意見書」を可決。		
<1996> 2. 11. 28	山梨リニア実験線着工。 J R 東海が超電導磁気浮上式鉄道山梨実験センターを開 設。				
<1997> 9. 4. 3	山梨リニア実験線先行区間で走行試験開始。	9. 6. 26	長野県議会で「リニア中央新幹線の整備促進に関する意見書」を可決。	平成 9. 7. 1	飯田市がリニア推進対策室を設置。
<2000> 12. 3. 9	運輸省超電導磁気浮揚式鉄道実用技術評価委員会。 ・長期耐久性、コスト低減など一部を除き、超高速大量輸送システムとして実用化に向けた技術上のめどは立ったと考えられる			12. 2. 23	須田 寛 J R 東海会長(中経連副会長)が飯田市内で講演(シルクホテル)。
<2003> 15. 4. 3	中央リニア新幹線基本スキーム検討会議。 ・需要予測:東海道新幹線の場合に比較してリニアができた場合流動性が20～32%増加する ・建設費:約7.7～9.2兆円、車両費約0.6～0.7兆円				
15. 12. 2	山梨リニア実験線で有人走行で世界最高速度581kmを達成。				
<2004>				16. 12. 21	中央新幹線沿線学者会議シンポジウム2004開催(飯田シルクプラザ)。

国・県外・J R 東海の動き		長野県内の動き		飯田 下伊那地域の対応	
<2005> 17. 3. 11	国土交通省 超電導磁気浮上式鉄道実用技術評価委員会 ・超電導磁気浮上式鉄道の実用化の基盤技術が確立したと判断できる				
<2006> 18. 9. 25	J R 東海が山梨リニア実験線の先行区間の設備の抜本的更新と未着工区間の延伸を決定。				
<2007> 19. 4. 26	J R 東海が自らのイニシアティブのもとに、平成37年を目標に首都圏～中京圏での営業運転を開始することを表明。				
<2008> 20. 2. 28		J R 東海が大鹿村、早川町でボーリング調査を開始。			
20. 10. 22	J R 東海が国土交通省に地形・地質調査結果を報告。	20. 10. 24		20. 8. 28	リニア中央新幹線飯田駅設置推進協議会設立準備会を開催。
20. 12. 24	国土交通省がJ R 東海に対し「地域と調整を図ること」を前提に「4 項目調査」を指示（東京都～大阪市）。			20. 9. 19	リニア中央新幹線飯田駅設置推進協議会設立。
<2009> 21. 6. 8	松本 J R 東海社長が「1 県 1 駅」の設置方針を正式表明（9 都府県期成同盟会総会挨拶）。 9 都府県同盟会の名称が、「リニア中央エクスプレス建設促進期成同盟会」から、「リニア中央新幹線建設促進期成同盟会」に改称される。	21. 7. 1	長野県議会公共交通対策特別委員会が定例会へのブルー ト建設決議提案を見送り。	21. 4	リニア中央新幹線飯田駅設置推進協議会が知久町に「リニアサロン」を開設。
21. 7. 28	国土交通省超電導磁気浮揚式鉄道実用技術評価委員会開催。 ・営業線に必要となる技術が網羅的、体系的に整備され、営業線仕様や技術基準等の策定を具体的に進めることが可能と判断	21. 7. 13 21. 9. 1	中央新幹線建設促進長野県期成同盟会が長野県議会総務企画警察委員会に「リニア中央新幹線の飯田駅設置」を求める陳情書を提出。 「リニア中央エクスプレス建設促進長野県協議会」が、「リニア中央新幹線建設促進長野県協議会」に改称される。	21. 6. 15 21. 6. 22	飯伊地区期成同盟会に対し、J R 東海により説明会を開催。 飯田市議会が「リニア中央新幹線の早期実現および飯田駅設置実現に関する決議案」可決。
				21. 8. 1	飯田市にリニア推進対策室設置。
				21. 9. 1	南信州広域連合議会が「リニア中央新幹線の早期実現と飯田駅設置実現に関する決議」を賛成多数で可決。
				21. 9. 3	リニア中央新幹線飯田駅設置推進協議会がCルート支持を決議。
				21. 9. 26	リニア中央新幹線飯田駅設置推進協議会他3 団体によるリニア新幹線に関するセミナーシンポジウム開催。 2 部シンポジウム講師にケンブリッジ高槻長尚氏
21. 12. 24	鉄道運輸機構及びJ R 東海が国土交通省に「中央新幹線（東京都・大阪市間）調査報告書」を提出。	21. 10. 15 21. 10. 26	東京・大阪間沿線経済団体による「リニア中央新幹線早期建設促進大会 in SUWA」開催（茅野市市民会館）。 J R 東海が「中央新幹線東京都・大阪間のデータ」について長野県に説明。	22. 1. 6	リニア中央新幹線飯田駅設置推進協議会が「リニア下敷き」の配布開始。
<2010> 22. 2. 24	国土交通大臣が交通政策審議会に対し、営業主体及び建設主体の指名並びに整備計画の決定について諮問。			22. 3. 13	リニア中央新幹線飯田駅設置推進協議会、同期成同盟会が「リニア中央新幹線セミナー」開催。
				22. 3. 15	リニア中央新幹線飯田駅設置推進協議会（事務局飯田商工会議所）が南信州リニア預金を開始。
				22. 3. 24	飯田市議会にリニア特別委員会設置。
22. 4. 28	J R 東海が、開業時期について、東京都～名古屋付近間は平成39年、大阪市までは平成57年となる長期試算の見通しを公表。			22. 4. 1	飯田市にリニア中央新幹線推進本部設置。

国・県外・ＪＲ東海の動き		長野県内の動き		飯田下伊那地域の対応	
22.5.10	第3回交通政策審議会陸上交通分科会鉄道部会中央新幹線小委員会において、ＪＲ東海へのヒアリング。	22.5.10	リニア中央新幹線建設促進長野県協議会総会を開催。決議文でＢルート・Ｃルート両論併記。	22.5.8	リニア中央新幹線飯田駅設置総決起大会開催（飯田文化会館）。
22.6.23				22.6.23	飯田市議会が「リニア中央新幹線の早期実現及び飯田駅設置実現に関する決議案」可決。
22.7.1				22.7.1	飯田商工会議所が下記事項を決定、参加・利用を呼びかけ。 ・リニアポスター製作・配布 ・リニアサポーターの募集 ・東京－大阪間沿経済団体リニア中央新幹線早期建設促進大会参加
22.8.20	第21回東京－大阪間沿経済団体リニア中央新幹線早期建設促進大会 in KANAGAWA開催。（会場：ホテルセンチュリー相模大野）			22.8.6	飯田商工会議所が国交省交通政策審議会リニア中央新幹線小委員会の実施するパブリックコメントに関し、当地域から積極的に提出するよう呼びかけ。
22.12.15	交通政策審議会陸上交通分科会鉄道部会中央新幹線小委員会が中間取りまとめを公表。・南アルプスルートの内定			22.11	南信州広域連合が「リニア将来ビジョン」発表。
<2011>				22.11.11	11.12開催の国交省交通政策審議会リニア中央新幹線小委員会においてＣルート決定の答申が出るものと観測されることから、リニア中央新幹線飯田駅設置推進協議会が市内において11月13日に提灯行列実施を決定し協力を呼びかけたが、答申決定に至らなかったとして、同日中に中止を決定。
23.3.11				22.12.15	リニア中央新幹線飯田駅設置推進協議会が「事実上の決定」のポスター発行。
23.4.21	交通政策審議会陸上交通分科会鉄道部会中央新幹線小委員会が最終答申（案）を公表。「直線ルート」を報告。			23.2.16	信毎・南信州が「南アルプスルートの内定」の号外発行。
23.5.12	交通政策審議会が営業主体及び建設主体の指名並びに整備計画の決定について答申。			23.2.16	リニア中央新幹線建設促進飯伊地区期成同盟会が総会において現飯田駅へ併設を目指すことを決議。
23.5.20	国土交通大臣がＪＲ東海を営業主体及び建設主体に指名。			23.3.6	「リニア中央新幹線を見据えた地域づくりシンポジウム」（県文化センター）が開催。講演：小沢一郎氏
23.5.26	国土交通大臣が整備計画を決定。	東北地方を中心に 東日本大震災が発生。			
23.5.27	国土交通大臣がＪＲ東海に対して建設を指示。				
23.6.7	・南アルプスルートの決定 ＪＲ東海「中央新幹線（東京都・名古屋市間）計画段階環境配慮書」（長野県区間を除く）を公表。			23.4	南信州広域連合が「リニア将来ビジョン」を踏まえた「第3次南信州広域連合広域計画」を策定。
23.8.5	ＪＲ東海 長野県区間分の「中央新幹線（同）計画段階環境配慮書」を公表。	23.6.21	リニア中央新幹線建設促進長野県協議会が、国が決定した南アルプス（Ｃ）ルートを尊重することを決議。 ・「飯田駅併設」は決議案に盛り込まず	23.5.2	リニア中央新幹線建設促進飯伊地区期成同盟会、南信州広域連合、南信州広域協議会が答申（案）に対しパブリックコメントを提出。
23.9.27	ＪＲ東海 長野県区間を補完した「中央新幹線（同）環境影響評価方法書」を公表。 ・飯田下伊那地域を通る約3km幅のルート帯と直径約5kmの円で駅の位置が示される	23.8.9	「中央新幹線計画段階環境配慮書」（長野県分）説明会開催（伊那市）。	23.5.23	リニア中央新幹線建設促進飯伊地区期成同盟会が長野県知事に要望書提出。
		23.8.27	長野県が「中央新幹線計画段階環境配慮書」に対する意見をＪＲ東海に提出。	23.7.11	飯田市議会が長野県と長野県議会に対し「水資源を避けたルート選定を求める要望書」を提出。
				23.8.18	「中央新幹線計画段階環境配慮書」（長野県分）説明会開催（飯田産業センター）。
				23.8.26	リニア中央新幹線建設促進飯伊地区期成同盟会、南信州広域連合、南信州広域協議会が「中央新幹線計画段階環境配慮書」に対しパブリックコメントを提出。
				23.9.10	リニア中央新幹線建設促進飯伊地区期成同盟会が「リニアを活かした地域づくりシンポジウム」を開催（飯田市県文化センター）。
23.9.22		ＪＲ東海が飯田市に環境保全事務所を設置。			・基調講演：澤谷浩介 日本政策投資銀行地域振興グループ参与

国・県外・ＪＲ東海の動き		長野県内の動き		飯田下伊那地域の対応	
23.9.27	ＪＲ東海が「中央新幹線（東京都・名古屋市間）環境影響評価方法書」を公表・縦覧。			ＪＲ東海環境評価方法書説明会開催。（豊丘村） 〃 〃 〃 （飯田産業センター）	23.10.18 23.10.20 23.10.21 23.10.24
23.11.11	中間駅設置予定6県がＪＲ東海に中間駅建設費負担について申入れ。				23.11.10
23.11.21	ＪＲ東海 中間駅建設費全額負担を表明。				
<2012>		24.2.24	長野県が「中央新幹線環境影響方法書【長野県】」についての知事意見をＪＲ東海に提出。	飯田市「リニア推進ロードマップ」を策定。	25.3
24.12.27	山田ＪＲ東海社長が県庁を訪れ阿部長野県知事と懇談。 ・知事が地域との十分なコミュニケーションを要望。	24.6	長野県「交通に係る県民等意識調査」報告書公表。		
<2013>		25.1.29	長野県が新総合交通ビジョン（案）を公表しパブリックコメント募集。		
		25.1.31	長野県考古学会がＪＲ東海と飯田市に対し遺跡保全の要望提出。		25.3
25.9.18	ＪＲ東海「中央新幹線（東京・名古屋市間）環境影響評価準備書」を公表・縦覧。 ・上郷飯沼地区に長野県駅設置が決定。本線ルート他全体像が明らかになる			飯伊地域の地域づくり基礎調査報告書を発表。	25.3
<2014>		26.3.20	長野県が「環境影響評価準備書（長野県）」についての知事意見をＪＲ東海に提出。		
		26.3	長野県「新総合交通ビジョン」発表。		
		26.3.26	長野県「リニア活用基本構想」を策定。		
26.4.23	ＪＲ東海「中央新幹線（東京・名古屋間）環境影響評価書」を公表。	26.4.1	長野県が「長野県リニア中央新幹線地域振興推進本部」を「長野県リニア中央新幹線地域振興推進本部現地推進本部」を設置。		
26.7	国交省「国土のグランドデザイン2050」を発表。			飯田市が第1回リニア駅周辺基本構想検討会議を開催。 リニア中央新幹線伊那谷・木曽谷経済活性化協議会が、長野県駅および周辺のイメージ図を公表。	26.5.30 26.7.18
26.8.26	ＪＲ東海 補正後の「中央新幹線（東京・名古屋間）環境影響評価書」を公表・縦覧。				
26.8.26	ＪＲ東海 国交大臣に対し、工事実施計画の認可を申請。				
26.10.17	国交大臣がＪＲ東海に対し工事実施計画を認可。	26.10.17	長野県が「リニア関連道路整備について」発表。 ・県内のリニア関連道路整備構想が発表され、具体的な取り組みが開始	ＪＲ東海が事業説明会を開催。 〃 〃 〃 〃	26.11.4 26.11.7 26.11.10 26.11.12 26.11.13 26.11.14

国・県外・ＪＲ東海の動き		長野県内の動き		飯田下伊那地域の対応	
26. 12. 17	ＪＲ東海がリニア中央新幹線建設工事を着工（品川駅・名古屋駅構内）。			26. 11. 18	（飯田産業センター） （高森町）
		26. 12. 10 26. 12. 11 26. 12. 14	飯田建設事務所・飯田市が第１回リニア関連道路説明会を開催。（飯田産業センター） （座光寺公民館）	26. 11. 22	平成26年度リニア中央新幹線建設促進飯伊地区期成同盟会臨時総会及び講演会（シルクプラザ）
			飯田建設事務所・飯田市が第５回リニア関連道路説明会を開催。（飯田産業センター） （座光寺公民館）		事業者説明会（飯田産業センター）
<2015>		27. 2. 17	長野県、上下伊那の３市広域連合で構成する「リニア中央新幹線整備を地域に活かす伊那谷自治体会議」が「リニアバレー構想」策定に着手。		
		27. 2	長野県「リニア中央新幹線開業に伴う経済波及効果」発表。	27. 3 27. 3. 8	南信州広域連合「基本構想・基本計画」を策定。 飯田信用金庫、しんきん南信州地域研究所、信金中央金庫が「リニア中央新幹線開通に係る調査報告書」を発表。
27. 4. 1	ＪＲ東海	用地買収に関し、長野県（町村部）、飯田市（飯田市内）と業務委託契約を締結。			
27. 4. 30		27. 4. 27	県が建設部にリニア整備推進局を設置し、人事を発令。		
			ＪＲ東海 長野県内で中心線測量開始。	27. 5. 26	飯田市第５回リニア駅周辺基本構想検討会議においてリニア駅周辺整備基本構想案が確定。
				27. 6. 8	飯田市がリニア駅周辺整備基本構想を策定。
27. 6.			ＪＲ東海が井戸水等利用状況調査を開始。		
		27. 8. 1	リニア中央新幹線建設促進飯伊地区期成同盟会がリニア中央新幹線の開通を見据えた講演会を開催（シルクプラザ）。 講演：国土交通省 藤田耕三鉄道局長		
		27. 8. 6 27. 10. 14	長野県、上下伊那の３市広域連合で構成する「リニア中央新幹線整備を地域に活かす伊那谷自治体会議」が「リニアバレー構想（骨子）」を発表。		太田国土交通大臣がリニア県駅予定地を視察。 飯田市第1回駅周辺整備検討会議を開催。
		27. 12. 10	飯田建設事務所・飯田市が第5回リニア関連道路説明会を開催。		「リニア駅周辺整備基本構想」に基づき駅周辺整備基本計画の策定に向け検討を開始
27. 12. 18	ＪＲ東海が南アルプストンネル山梨工区起工式挙行、工事着工（山梨県早川町）。		飯田建設事務所・飯田市が第5回リニア関連道路説明会を開催。 国道153号飯田北改良・座光寺上郷道路・SIC取付道路のルート線を発表	27. 12. 21 27. 12. 24	飯田市がリニア駅周辺整備に係る整備区域（案）を北条地区に提案。 飯田市第３回駅周辺整備検討会議において、駅周辺整備の整備区域（案）が示される。
<2016>		28. 2. 12	「リニア中央新幹線整備を地域に活かす伊那谷自治体会議」が「リニアバレー構想」を決定。 ・阿部県知事が座長に就任	28. 2. 4	阿智村社会環境アセスメント委員会が最終会合と報告会を開催。 ・11項目の対策を示し、村・村議会にＪＲ東海との協議を求める
				28. 2. 14	飯田市第４回リニア駅周辺整備検討会議開催。 住民代表と行政機関が話し合う場として「駅周辺のすみやすさを考える会」の設置案が提案される
				28. 3. 13	飯田市・ＪＲ東海 北条地区説明会開催。 ・駅周辺整備の市道付替え計画 ・リニア本線幅杭を今夏秋に設置 を説明
				28. 3. 14	飯田市第５回リニア駅周辺基本構想検討会議開催。 ・駅部高架下床面を標高436mlに設定 ・駅周辺整備のアイデア募集を実施
				28. 3. 17	飯田市・ＪＲ東海 座光寺地区説明会開催。 ・道水路付替え計画 ・座光寺地区の幅杭を今夏秋に設置 の説明

国・県外・ＪＲ東海の動き		長野県内の動き		飯田下伊那地域の対応	
				28. 3. 28	ＪＲ東海 県・上郷地区説明会開催。 ・(県)松川橋梁の工事計画 車両運行計画・概要 ・(上郷)黒田非常口計画概要 の説明
				28. 4. 11	ＪＲ東海丸山地区説明会開催。 ・長野県駅-黒田非常口間工事にシールド工法を検討 ・松川橋梁、黒田非常口の工事計画 の説明
				28. 4. 13	松川町第2回リニア中央新幹線工事対策委員会開催。
				28. 4. 14	・ＪＲ東海から町内残土候補地、計画概要を説明 ＪＲ東海 羽場地区説明会を開催。 ・松川橋梁・トンネル工事計画 の説明
				28. 4. 20	大鹿村第15回リニア対策委員会開催。 ・県道・村道改良計画、発生土仮置き計画など9項目を説明
				28. 4. 21	喬木村第1回リニア中央新幹線対策委員会を開催。
				28. 4. 27	ＪＲ東海が大鹿村住民説明会を開催。 ・県道・村道改良、発生土仮置き計画等10項目を説明
				28. 5. 12	阿智村第1回リニア対策委員会開催。
				28. 5. 18	・熊谷村長「南木曽町の発生土受入は難しい」表明 豊丘村第4回リニア対策委員会を開催。 ・ＪＲ東海・中電・県より送電線設置計画等を説明
				28. 6. 6	飯田市第6回リニア駅周辺基本構想検討会議開催。 ・駅周辺整備公募アイデア集計結果を発表
				28. 6. 9	ＪＲ東海が豊丘村神稲伴野区源道地残土処分計画を断念(信毎報道)。
				28. 7. 20	飯田市第7回リニア駅周辺基本構想検討会議開催。 ・駅周辺整備公募アイデアの検討状況を報告
				28. 7. 28	ＪＲ東海が座光寺地区説明会を開催。 ・「座光寺地区の幅杭設置が今冬にずれ込む見通し」
				28. 7. 29	大鹿村第18回リニア対策委員会を開催。
				28. 7. 30	・ＪＲ東海松川インター大鹿線工事の説明会開催を表明 松川町生田福与区でリニア工事計画に関する説明会を開催。
				28. 8. 24	・ＪＲ東海から生東区残土処分計画を説明 ＪＲ東海が大鹿村で工事説明会を開催。 ・県道松川インター大鹿線トンネル2本の工事計画を説明
				28. 8. 25	大鹿村第19回リニア対策委員会開催。
				28. 8. 26	・ＪＲ東海南アルプストンネル本体工事の工事説明会開催を表明 大鹿村第19回リニア対策委員会開催。 ・県道赤石岳公園線改良について
				58. 8. 29	阿智村リニア対策委員会が意見交換会を開催。 ・清内路萩の平間連発生土置き場の可能性調査実施へ
				28. 9. 26	阿智村リニア対策委員会開催 ・萩の平非常口工事に関する9項目についてＪＲ東海と県に質問書提出を決定
				28. 9. 27	県道市場桜町線改良計画説明会開催(飯沼北条地区)。
				28. 9. 30	市駅周辺整備住民説明会開催(飯沼北条地区)。 ・移転対象者への代替地候補地として駅周辺の3エリアを示す
				28. 10. 11	ＪＲ東海大鹿村釜沢地区工事説明会開催。 ・リニア本線トンネルの工事計画説明

国・県外・ＪＲ東海の動き		長野県内の動き		飯田下伊那地域の対応	
28. 10. 25	J R東海が南アルプストンネル長野工区工事の環境保全計画を公表。	28. 10. 25	J R東海が南アルプストンネル工事に関する報告会開催(中川村)。	28. 10. 15	J R東海が喬木村ガイドウェイ計画地権者に説明会開催。
28. 10. 27	J R東海が南アルプストンネル山梨工区で掘削工事を開始。	28. 10. 30	阿部知事が南アルプストンネル長野工区に関する意見交換会を開催(大鹿村役場)。	28. 10. 19	大鹿村・J R東海南アルプストンネル長野工区工事に関する確認書を締結。
28. 11. 1			J R東海が南アルプストンネル長野工区起工式を執行、工事着工。		
28. 12. 13	J R東海日吉トンネル南垣外工区(岐阜県瑞浪市)安全祈願・着工式を挙行、工事着工。	28. 11. 14	リニア中央新幹線建設促進長野県協議会が総会開催(長野市)。 ・J R東海に対し7項目の要請を決議。	28. 11. 4	飯田市・J R東海が北条地区説明会を開催。 ・道水路付替計画、駅周辺整備関連道路計画等を説明
28. 12. 20	J R東海がリニア名古屋駅の安全祈願・起工式を挙行。	28. 12. 15	J R東海中央アルプストンネル山口工区の工事説明会を開催(中津川市山口地区)。	28. 11. 7	松川町生田福与区が町に対し残土受入反対申し入れ。
28. 12. 20	独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構が風越山トンネル・中央アルプストンネルの施工業者を戸田・あおみ・矢作建設工業JVに決定。	28. 12. 20	中川村リニア中央新幹線対策協議会開催。 ・J R東海との確認書締結を検討	28. 11. 9	阿島北リニア対策協議会開催。 ・J R東海 喬木地区上部に関する村道付替え計画を説明
<2017> 29. 1. 1	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構が飯田鉄道建設事務所を開設(飯田市鈴加町)。	29. 1. 19	リニア中央新幹線整備を地域振興に活かす伊那谷自治体会議「リニア中央新幹線開業に向けた地域づくりを考えよう勉強会」開催(飯田市公民館)。 ・講師：建築家 隈 研吾氏	28. 11. 29	松川町第4回リニア建設工事対策委員会開催。 ・生田残土処分候補地に関しJ R東海への要望書提出を決定
29. 1. 23	阿部長野県知事とJ R東海柘植社長がトップ会談。 ・残土安全管理など3項目を要望	29. 1. 20	リニア中央新幹線整備を地域振興に活かす伊那谷自治体会議開催。 ・駅周辺整備、二次交通に関し検討	28. 11. 30	豊丘村第5回リニア対策委員会開催。 ・J R東海が伊那山トンネル坂島工区の工事説明会を年明けに開催を表明
				28. 12. 19	松川町がJ R東海に対し、残土処分候補地に関し要望書をJ R東海に提出。 大鹿村リニア連絡協議会が発足。 ・工事中の影響低減を図り、J R東海、村、県、工事業者、住民代表により構成
				28. 12. 22	飯田市リニア駅周辺整備検討会議開催。 ・4項目の整備コンセプト、イメージ図を示す
				29. 1. 30	J R東海豊丘村4地区に対し残土処理候補地に関する説明会開催(村民交際学習センターゆめあるて)。 三遠南信道路建設促進南信地域・リニア中央新幹線建設促進飯伊地区定期総会開催(飯田市)。 ・リニア早期開通、三遠南信道早期整備を決議
				29. 2. 7	豊丘村第6回リニア対策委員会開催。 ・J R東海が残土処理場に本山候補地を前提とし行政手続開始を表明
				29. 2. 22	J R東海鹿光寺地区説明会開催。 ・道水路付替え計画、保守基地線用地取得範囲を明示
				29. 3. 2	J R東海羽場地区説明会開催。 ・県道飯田南木曽線改良計画を説明
				29. 3. 3	本山生産森林組合が総会を開催し、残土処理場の仕様に同意。
				29. 3. 10	阿智村リニア対策委員会開催。 ・J R東海の質問書回答に対する意見交換

国・県外・J R 東海の動き		長野県内の動き		飯田 下伊那地域の対応	
				29. 3. 21	喬木村リニア中央新幹線対策委員会開催。 ・ J R への質問状提出を検討 大鹿村第 2 回リニア連絡協議会開催。 ・ J R 東海より工事進捗状況を報告 J R 東海・県・市が飯沼北条地区説明会開催。 ・ 鉄道用地取得範囲詳細設計を示す、幅杭設置準備へ ・ 国道 153 号北条交差点、市道付替え計画 等説明 飯田市第 9 回リニア駅周辺整備検討会議開催。 ・ 市が整備基本計画案を示す 高森町ガイドウェイ用地に係る地権者向け説明会を開催。 ・ 下田候補地 J R 東海豊丘村伊那山地 トンネル坂島工区工事説明会開催。 ・ 残土処分計画、道路改良計画を説明
29. 4. 3	川勝静岡県知事が J R 東海に対し、大井川流量維持を求める意見書を提出。	29. 3. 31	中川村リニア対策協議会開催。 ・ 県道松川インター大鹿線の 2 トンネル工事状況を説明	29. 4. 12	J R 東海が豊丘全村対象伊那山地 トンネル坂島工区工事説明会開催。
29. 4. 19			J R 東海と県内関係 16 市町村長による意見交換会を開催(飯田市)。		
		29. 4. 22	県が大鹿村上蔵地区保安林解除に対し異議を申し立てた住民意見書を国に送付。	29. 4. 24	飯田市が座光寺地区代替地地権者向け説明会を開催。 ・ 唐沢宮の前、共和地区を代替地候補地に選定
				29. 4. 25	飯田市が上郷地区代替地地権者向け説明会を開催。 ・ 代替地方針を説明
				29. 4. 26	県が座光寺上郷道路説明会を開催。 ・ 道路構造等説明、用地測量に入る
29. 4. 27	J R 東海が南アルプス トンネル長野工区除山非常口斜坑の掘削開始。		県内初のトンネル掘削	29. 4. 27	J R 東海が飯沼北条地区で説明会を開催。 ・ 幅杭設置を 5 月 9 日から開始する
				29. 4. 28	南信州広域連合、飯田商工会議所、県商工会連合会南信支部が J R 東海に対し、工事に地元企業活用を求める要望書を提出。
				29. 4. 30	J R 東海が座光寺地区で説明会を開催。 ・ 環境対策工、道水路付替え計画を説明
				29. 5. 8	飯田市が飯沼北条地区の移転対象者向け個人相談会を開始。 ・ 5 月 27 日まで対象組合別日程で
29. 5. 9			J R 東海が飯沼北条地区で幅杭設置を開始。	29. 5. 10	豊丘村第 7 回リニア対策委員会開催。 ・ 村が道路改良計画に関する J R 東海との確認書原案を示す
29. 5. 12			伊那山地 トンネル坂島工区施工業者 J V が豊丘村神箱の事務所開所式を挙行。	29. 5. 14	飯田市が駅周辺整備基本計画説明会を開催。 併せて V R による駅周辺整備イメージの体験会を開催。
		29. 5. 17	阿部知事と伊那谷経済関係者との意見交換会開催(県飯田合同庁舎)。		
29. 5. 17	J R 東海が伊那山地 トンネル坂島工区の工事に関する環境保全計画書を公表。			29. 5. 19	豊丘村第 8 回リニア対策委員会開催。 ・ 村の道路改良計画に関する J R 東海との確認書案について討議
				29. 5. 22	阿智村リニア対策委員会開催。 ・ 残土置き場候補地として黒川上流を調査することを了承
				29. 5. 24	本山人産森林組合がリニア残土置き場の同意を手続き不備を理由とし撤回を決定。
29. 5. 25	国が南アルプス トンネル長野工区小渋川非常口の保安林指定を解除し、官報で告示。				

国・県外・ＪＲ東海の動き		長野県内の動き		飯田下伊那地域の対応	
29. 5. 26	阿部長野県知事とＪＲ東海柘植社長が２回目のトップ会談（名古屋ＪＲ東海本社）。 ・ＪＲ東海が本社・長野工事事務所の担当人員増員で態勢強化を表明			29. 5. 26	豊丘村リニア対策委員会開催。 ・村が伊那山地トンネル坂島工区の着工を了承することを表明
29. 5. 31	ＪＲ東海中央アルプストンネル山口工区の環境保全措置計画書を公表。 ・６月中に着工する工程を示す	29. 5. 29	県議会環境産業観光委員会が上・下伊那地域で現地調査。	29. 5. 29	飯田市が飯沼北条地区で説明会を開催。 ・用地関係者組合の設立案を示す
29. 6. 7	ＪＲ東海が南アルプストンネル静岡工区の工事業者公募を開始。	29. 6. 15	リニア中央新幹線整備を地域振興に活かす伊那谷自治体会議開催（飯田合同庁舎）。 ・品川ー長野駅間の運賃は7,500円と試算結果を示す	29. 5. 31	飯田市がリニア駅周辺整備検討会議を開催。 ・駅周辺整備基本計画案を承認し、確定
29. 6. 29	ＪＲ東海が平成28年度の沿線7都県の環境調査結果を公表。	29. 6. 23	県環境影響評価技術委員会開催。 ・伊那山地トンネル坂島工区の環境保全措置計画の検討	29. 6. 2	喬木村リニア中央新幹線対策会議開催。 ・工事で想定する課題を集約しJR東海へ公開質問する内容を検討
29. 7. 3	ＪＲ東海が財政投融資資金3兆円の借入が完了。			29. 6. 14	豊丘村で坂島工区工事のための道路改良工事着工。
29. 7. 12	ＪＲ東海が伊那山地トンネル青木川工区の工事を飛鳥建設・奥村組土木興行JVと工事契約締結。 ＪＲ東海が南アルプストンネル山梨工区の内部を報道に公開。 岐阜県が中津川市車両基地予定地から基準を超える砒素と鉛を検出したと発表。 リニア中央新幹線建設促進連期同盟会（東京ー大阪間沿線9都府県）が総会を開催。 ・早期全線整備に向け取り組む方針を確認	29. 7. 18	ＪＲ東海が南アルプストンネル長野工区小渋川非常口斜坑の掘削工事を開始。 県が伊那山地トンネル坂島工区工事に関するＪＲ東海の環境保全措置に対する県の助言をまとめ同社に通知。	29. 6. 23	喬木村第4回リニア中央新幹線対策会議開催。 ・ＪＲ東海への質問書の内容を協議 村が質問書を提出する
29. 8. 10				29. 6. 27	大鹿村第3回リニア連絡協議会開催。 ・JR東海より県道松川インター大鹿線改良工事の進捗状況を報告
29. 8. 23				29. 6. 28	高森町ガイドウェイ候補地に関する説明会開催。
29. 8. 31				29. 7. 19	県が県道市場桜町線改良工事説明会を飯沼北条地区で開催。 ・座光寺上郷道路交差点から南800m間の詳細設計を提示
29. 9. 31				29. 7. 20	飯田市リニア駅周辺整備デザイン会議発足、初会合開催。 ・委員に東京芸術大学建築科北川原温教授を選任
				29. 7. 20	豊丘村リニア対策委員会開催。 ・中電が上佐原に設置する発電所の工事計画を説明
				29. 7. 21	ＪＲ東海が喬木村阿島北地区住民説明会開催。 ・太陽光発電設備の日陰による補償の方針を初めて示す
				29. 8. 7	ＪＲ東海が松川ガイドウェイ候補地関係者向け説明会を開催。 上郷地域用地関係者組合準備会の初会合開催。
				29. 8. 8	喬木村第5回リニア中央新幹線対策会議開催。 ・ＪＲ東海が村からの質問書に回答
				29. 8. 21	高森町ガイドウェイ用地地権者連絡協議会が発足。 ＪＲ東海が南アルプストンネル長野工区小渋川非常口で発破による掘削作業を開始。
				29. 9. 1	ＪＲ東海が松川町第5回リニア中央新幹線建設工事対策委員会において残土処分候補地が進展しない状況に「お詫び」を表明。
				29. 9. 13	ＪＲ東海が南アルプストンネル長野工区小渋川非常口で夜間の発破作業を開始。
				29. 9. 14	ＪＲ東海が羽場地区説明会を開催（羽場公民館）。 ・県道飯田南木曽線の拡幅整備計画を説明
29. 9. 25	ＪＲ東海が国土交通省にリニア中央新幹線の電気設備工事などの工事実施計画の認可を申請。	29. 9. 19	南木曽町リニア中央新幹線対策協議会開催。 ・ＪＲ東海が残土置き場候補地について地権者と交渉に入る ・広瀬非常口の用地取得を開始	29. 9. 21	ＪＲ東海が県地区説明会を開催（切石公民館）。 ・妙々公園内ヤード整備、市道大休砂零線改良計画を説明
29. 9. 26					

ＪＲ東海喬木村内で幅杭設置作業開始。

国・県外・ＪＲ東海の動き		長野県内の動き		飯田下伊那地域の対応	
29. 10. 20	ＪＲ東海が第一首都圏トンネル北品川工区、第一中京圏トンネル坂下西工区の工事業者を公募。	29. 10. 2 29. 10. 3	県道松川インター大鹿線改良工事で西下トンネルが貫通。 ＪＲ東海がリニア中央アルプストンネル山口工区の準備工事を開始。	29. 9. 27	阿智村リニア対策委員会開催。 ・ＪＲ東海が残土置き場の地権者説明に入っていることを説明
				29. 9. 29	座光寺原宮崎地区説明会開催。 ・フルーツライン～県道飯島飯田間の詳細設計を提示
				29. 9. 29	豊丘村第８回リニア対策委員会開催。 ・ＪＲ東海が伊那山地トンネル坂島工の進捗状況を報告
				29. 10. 3	ＪＲ東海が座光寺地区説明会開催。 ・道水路付け替え計画、本線用地取得範囲を説明
29. 10. 20	ＪＲ東海が第一首都圏トンネル北品川工区、第一中京圏トンネル坂下西工区の工事業者を公募。	29. 10. 2 29. 10. 3	県道松川インター大鹿線改良工事で西下トンネルが貫通。 ＪＲ東海がリニア中央アルプストンネル山口工区の準備工事を開始。	29. 10. 4	松川町上片桐地区説明会開催。 ・ガイドウェイ施設の造成工事計画を説明
				29. 10. 4	ＪＲ東海が丸山地区説明会を開催。 ・中央アルプストンネル松川他工区工事計画の説明
				29. 10. 6	ＪＲ東海が座光寺共和地区説明会を開催。 ・道水路付け替え計画、本線用地取得範囲を説明
				29. 10. 23	ＪＲ東海・飯田市が座光寺中河原地区説明会を開催。 ・座光寺下段に幅杭設置を提示
29. 10. 31	ＪＲ東海が第一首都圏トンネル北品川工区、第一中京圏トンネル坂下西工区の工事業者を公募。	29. 11. 4	飯田市が阿部県知事を迎え意見交換会を開催。	29. 10. 23	ＪＲ東海・飯田市が座光寺説明会を開催。 ・道水路付け替え計画を説明
				29. 10. 23	ＪＲ東海が喬木村阿島北地区説明会を開催。 ・用地取得範囲と用地取得・補償手続を説明
				29. 10. 27	飯沼北条地区説明会開催。 ・市が飯田線養護新駅の計画を示す
				29. 10. 29	ＪＲ東海が喬木ガイドウェイ用地地権者向け説明会開催。 ・年内を目途に用地賃借計画を締結することを表明
29. 11. 15	ＪＲ東海が南アルプストンネル静岡工区の工事契約を締結。 ・大成建設・佐藤工業ＪＶ	29. 11. 13	リニア中央新幹線整備を地域振興に活かす伊那谷自治体会議開催(伊那合同庁舎)。 ・飯田市が飯田線の乗換新駅計画を説明 ・二次交通についての論点を整理	29. 11. 6	松川町生田福与区がリニア残土処分候補地取り下げ検討の要望書を町に提出。 飯田市駅周辺整備基本設計業務業者選定に向け事業者選定に向け公開プレゼンテーションを実施(飯田市役所)。 ・中央コンサルタント・設計領域・三菱地所設計ＪＶに決定
				29. 11. 9	飯田市駅周辺整備基本設計業務業者選定に向け事業者選定に向け公開プレゼンテーションを実施(飯田市役所)。 ・中央コンサルタント・設計領域・三菱地所設計ＪＶに決定
				29. 11. 13	リニア中央新幹線整備を地域振興に活かす伊那谷自治体会議開催(伊那合同庁舎)。 ・飯田市が飯田線の乗換新駅計画を説明 ・二次交通についての論点を整理
				29. 11. 16	ＪＲ東海が実施した大鹿村の三正坊橋の修復作業が完了。 ・長野県内に１時間以上の停車の確保など６項目の要望を決議
29. 11. 25	ＪＲ東海が品川駅の工事現場を報道陣に公開。	29. 11. 29	リニア中央新幹線建設促進県協議会の年度総会を開催。 ・豊丘村第１１回リニア中央新幹線活用戦略研究会が発足。 ・村内の若者１０名で構成し、リニア開業を見据えた振興策を検討し、村へ提言を予定	29. 11. 20	豊丘村第１１回リニア中央新幹線活用戦略研究会が発足。 ・村内の若者１０名で構成し、リニア開業を見据えた振興策を検討し、村へ提言を予定
				29. 11. 21	豊丘村第１１回リニア中央新幹線活用戦略研究会が発足。 ・村内の若者１０名で構成し、リニア開業を見据えた振興策を検討し、村へ提言を予定
				29. 11. 28	飯田市が駅周辺整備基本設計に關し中央コンサルタント・設計領域・三菱地所設計ＪＶとの委託契約を締結。 ・中部電力が下伊那変電所設置工事計画を説明
				29. 11. 29	飯田市が飯沼北条地区で用地説明会を開催。 ・取得範囲、補償手続の手順を示す
29. 12. 9	東京地検特捜部がリニア中央新幹線工事の不正入札の偽計業務妨害の疑いで大林組本社などを家宅搜索。	29. 12. 6	飯田市が飯沼北条地区で工事説明会を開催(切石公民館)。 ・中央アルプストンネル松川他工区松川坑口の工事計画を説明	29. 12. 6	飯田市が飯沼北条地区で用地説明会を開催。 ・取得範囲、補償手続の手順を示す

国・県外・ＪＲ東海の動き		長野県内の動き		飯田 下伊那地域の対応	
				29. 12. 8	ＪＲ東海が中央アルプストンネル松川他工区の工事説明会を羽場地区で開催（羽場公民館）。 ・工事車両運行計画、安全対策を説明
				29. 12. 13	阿部県知事と伊那谷経済団体との代表者との意見交換会開催（飯田市）。
				29. 12. 14	ＪＲ東海が喬木リニアガイドウェイ用地地権者向け説明会を開催。 ・用地賃借契約の内容を地権者に示す
29. 12. 18	東京地検特捜部・公正取引委員会が独占禁止法違反の疑いで鹿島と清水建設の本社を家宅搜索。	29. 12. 15	中川村の県道松川インター大鹿線改良工事	29. 12. 15	中川村の県道松川インター大鹿線改良工事現場でトンネル工事現場近くの斜面で土砂崩落が発生。
29. 12. 19	東京地検特捜部・公正取引委員会が独占禁止法違反の疑いで大林組と大成建設の本社を家宅搜索。	29. 12. 19	ＪＲ東海が中川村県道松川インター大鹿線改良工事現場での土砂崩落はトンネル工事の発破作業が原因と発表。	29. 12. 22	喬木村阿島北地区で村代替地登録制度の説明会を開催。
				29. 12. 22	松川町議会がリニア特別委員会を設置。
				29. 12. 23	ＪＲ東海が大鹿村除山非常口で発破による掘削作業を開始。
				29. 12. 23	大鹿村第５回リニア連絡協議会開催。 ・ＪＲ東海が土砂崩落を陳謝 ・トンネル残土を鷲ヶ果沢の流路工整備に活用することを説明
29. 12. 26		29. 12. 26	県がリニア中央新幹線沿線市町村首長とＪＲ東海との第３回目の意見交換会を開催（県飯田合同庁舎）。 ・工事の安全対策などを要望		
29. 12. 29		29. 12. 29	飯田建設事務所が松川インター大鹿線崩落事故現場を新設トンネルを応急迂回路とする片側交互通行を始める。	30. 1. 12	喬木村が代替地登録制度の運用を開始。
<2018> 30. 1. 15	ＪＲ東海中央アルプストンネル松川他工区の環境保全計画を公表。	30. 1. 25	リニア中央新幹線整備を地域振興に活かす伊那谷自治体会議勉強会開催（飯田合同庁舎）。 講師・交通ジャーナリスト 鈴木文彦氏 ・国土交通省国土政策局 木村 稔 総合政策課長 ・同 岸 弘之 計画官		
30. 1. 18	ＪＲ東海自立式ガイドウェイ側壁製作保管（山梨地区）の工事契約を清水建設と締結。	30. 1. 30	中川村リニア中央新幹線対策協議会開催。 ・ＪＲ東海が県道松川インター大鹿線と南アルプストンネルの発生土を半の処理め立てに利用する計画を説明	30. 1. 27	豊丘村第12回リニア対策委員会開催。 ・村が本山生産森林組合の正常化に向けた経緯と今後の進め方を示す
30. 2. 1	東京地検特捜部が独占禁止法違反容疑で鹿島と大成建設本社を再度家宅搜索。			30. 1. 31	飯田建設事務所が座光寺原宮崎地区説明会開催。 ・座光寺上郷道路のフルーツライン～県道飯島飯田線間の市道代替え計画などの説明
30. 2. 2	東京地検特捜部が独占禁止法違反容疑で大成建設本社を３度目の家宅搜索。			30. 2. 2	リニア中央新幹線建設促進飯伊地区期成同盟会と三遠南信道路建設促進南信地域期成同盟会の総会を開催。 ・ＪＲ東海に対し丁寧な説明、自然・生活環境への影響低減策への最大限の配慮を求める
				30. 2. 6	松川町ガイドウェイ用地に関する説明会開催。 ・町が用地造成に残土を候補地へ運ぶ３ルートを説明
				30. 2. 14	中央アルプストンネル松川他工区に係るＪＲ東海と切石地区との確認書調印が行われる（飯田市役所）。 ・今月15日より準備工事に着手
				30. 2. 19	飯田市が飯沼丹保地区説明会開催。 ・153号に接続する市道や代替地の街区道路の計画を示す
				30. 2. 21	飯田建設事務所が飯沼地区説明会を開催。 ・県道市場桜町線の改良工事区間を600m追加

国・県外・ＪＲ東海の動き		長野県内の動き		飯田下伊那地域の対応
30. 3. 2	東京地検特捜部が独占禁止法違反で大成建設元役員と鹿島担当部長を逮捕。			30. 2. 28 阿智村リニア対策委員会開催。 ・ＪＲ東海が残土処理候補地の概略図を示す ・ＪＲ東海が清内路地区村道の２車線化を検討することを表明
30. 3. 2	国土交通省ＪＲ東海申請の電気設備等工事実施計画を認可。	30. 3. 16	県が中央アルプストンネル松川他工区工事に伴う環境保全措置に対する助言を同社に通知。	30. 3. 13 阿部県知事と柘植ＪＲ東海社長が会談（長野県庁）。 ・知事が県駅に１時間に１本以上の停車を要望 30. 3. 15 飯田市と県宅地建物取引業協会南信支部が代替地情報提供に関する協定を締結。 30. 3. 19 飯田市が2018年度のリニア推進ロードマップを市議会リニア推進特別委員会へ示す。
30. 3. 20		ＪＲ東海が中央アルプストンネル松川他工区の安全祈願式を挙行。		
30. 3. 23	東京地検特捜部が独占禁止法違反で大成建設、鹿島の２名と大林、清水建設、大成建設、鹿島の４社を起訴。			30. 3. 23 飯沼北条地区説明会開催。 ・ＪＲ東海、県、市が進捗状況を説明
30. 3. 23	ＪＲ東海伊那山地トンネル戸中工区と変電施設用地造成工事の工事業者を募集開始。	30. 3. 26	県がリニア建設工事を巡る談合により独占禁止法違反で起訴された大林組、清水建設を６カ月間の入札参加停止とすることを決定。	30. 3. 23 飯田市が第２回リニア駅周兵整備デザイン会議を開催。 ・設計チームが新たな平面设计（施設配置）案を説明 30. 3. 27 飯田市都市計画審議会・同土地利用計画審議会、同市上郷地区を市景観条例の「景観育成推進地区」に指定することを報告。
30. 3. 27	ＪＲ東海が中川村松川インター大鹿線の崩落について、ＪＲ東海が中川村リニア対策協議会で報告・陳謝。		ＪＲ東海が中川村リニア対策協議会で報告（県庁）。	30. 3. 29 喬木村とＪＲ東海が喬木ガイドウェイ用地造成工事の基本協定を締結。 30. 3. 29 大鹿村第６回リニア連絡協議会を開催。 ・ＪＲ東海が松川インター大鹿線の復旧について報告
30. 3. 29	国交省がリニア工事で独占禁止法違反で起訴された大林組、鹿島、清水建設、大成建設を中部地方整備局など19機関で同日から４カ月間の指名停止処分を発表。			
30. 4. 5	ＪＲ東海「リニア中央新幹線サイト」を同社ＨＰ内に設置。			30. 4. 6 喬木村ガイドウェイ地権者協議会開催。 ・ＪＲ東海が本年10月を目途に工事説明会を開催することを報告
30. 4. 13	ＪＲ東海がリニア中央新幹線第一首都圏トンネル北品川工区と第一中京圏トンネル大森工区の工事業者との工事契約を締結。	30. 4. 25	県がＪＲ東海の南アルプストンネル工事に伴う釜沢地区発生土置き場に関する環境調査結果と保全計画に対する助言を同社に対し通知。	30. 4. 19 豊丘村第13回リニア対策委員会開催。 ・中部電力が豊丘変電所（佐原）の用地造成計画を説明 30. 4. 26 座光寺原・宮崎地区説明会開催。 ・飯田建設事務所が座光寺上郷道路のＳＩＣ側区間の計画の一部変更案を説明、了承を得た 30. 5. 8 喬木阿島北地区説明会開催。 ・ＪＲ東海がトンネル工事により出る水は壬生沢川に流さず、直接天竜川に流すことを示す
30. 5. 9	ＪＲ東海がリニア中央新幹線トンネル工事の東京、神奈川、愛知の大深度地下使用認可申請書類を同社ＨＰに公開。			30. 5. 12 ＪＲ東海が松川町生田生東地区で説明会を開催。 ・リニア工事に伴う残土処分候補地地権者に対し計画図面を示す
30. 5. 10	ＪＲ東海がリニア中央新幹線トンネル工事の大深度地下使用認可申請の内容を、東京、神奈川、愛知の沿線で住民説明会を実施。			30. 5. 15 下條村リニア残土処理地計画特別委員会が発足、第１回会合を開催。 30. 5. 15 高森町が下市田ガイドウェイ製作保管ヤードに関する説明会を開催。 ・町が造成用地の範囲や工期などを説明 30. 5. 22 ＪＲ東海が大鹿村釜沢地区説明会を開催。 ・除山非常口斜坑で夜間の発破作業を試験的に実施することを提案、反対意見多く再度検討となる 30. 5. 30 飯田建設事務所が上郷飯沼地区説明会開催。 ・県道市場桜町線600m区間の詳細設計を示す ・県がリニア関連道路整備に関し、従来計画を一括して見直し都市計画決定へ進む見直しを示す

国・県外・ＪＲ東海の動き		長野県内の動き		飯田 下伊那地域の対応	
30. 6. 8 30. 6. 20 30. 6. 26	ＪＲ東海リニア第一首都圏トンネル等々力非常口新設工事の工事契約を締結。 ・清水・竹中土木・東亜建設工業ＪＶ	30. 6. 11	リニア中央新幹線建設促進県協議会総会開催（県庁）。 ・2027開業の確実実施、長野県駅に1時間1本以上の停止、など7項目の要望を決議	30. 5. 30	豊丘村リニア対策委員会開催。 ・ＪＲ東海県道長沢田村線改良工事を10月末まで延長することを説明
				30. 5. 31	飯田市羽場・丸山地区がＪＲ東海とリニア中央アルプストンネル松川他工区工事に関する確認書を締結。
				30. 5. 31	大鹿村住民説明会開催。 ・ＪＲ東海が工事面が通行する迂回ルートが仮設橋工事の遅れで暫定迂回ルートで6月1日より通行すると説明
				30. 6. 1	高森町がＪＲ東海とガイドウェイ製作保管ヤード用地造成工事に関する基本協定を締結。
		30. 6. 6	座光寺地区説明会開催。 ・ＪＲ東海が風越山トンネルはシールド工法で掘削し、発生土は土留川非常口から排出することを示す		
		30. 6. 7	飯沼北条地区説明会開催。 ・ＪＲ東海が風越山トンネルはシールド工法適用が可能との見方を示す。		
		30. 6. 11	飯田市が第3回リニア駅周辺整備デザイン会議を開催。 ・事務局が平面計画案の概要を示す	30. 6. 11	飯田市が第3回リニア駅周辺整備デザイン会議を開催。
		30. 6. 12	座光寺原・宮崎地区説明会開催。 ・宮崎の一部トンネル化について概略設計を示す	30. 6. 12	座光寺原・宮崎地区説明会開催。
		30. 6. 13	高森町とＪＲ東海が高森町リニアガイドウェイ施設用地造成工事に関する基本協定を締結。	30. 6. 13	高森町とＪＲ東海が高森町リニアガイドウェイ施設用地造成工事に関する基本協定を締結。
		30. 6. 14	上郷黒田地区説明会開催。 ・座光寺上郷道路のフルーソラインへの取付計画を示す	30. 6. 14	上郷黒田地区説明会開催。 ・座光寺上郷道路のフルーソラインへの取付計画を示す
ＪＲ東海が29年度工事予定地の環境調査結果を県と関係自治体に送付。					
				30. 6. 26	飯田建設事務所が国道153号飯田北改良用説明会を開始。 国道153号と接続道路交差点の詳細設計を説明 6月26日 別府地区 7月3日 飯沼南地区
				30. 6. 28	大鹿村リニア中央新幹線連絡協議会開催。 ・村が村総合グラウンドとろくべん館前河川敷の造成図を示す
				30. 6. 29	喬木阿島堰下地区説明会開催。 ・ＪＲ東海が喬木ガイドウェイ製作・保管ヤードの工事計画を説明
				30. 7. 3	大鹿村とＪＲ等が残土最終置き場のろくべん館前敷地と村総合グラウンドについて確認書を締結。
				30. 7. 4	飯田市でリニア中央新幹線開業を見据えたまちづくりを考える勉強会開催（市議会リニア推進特別委員会主催）。 講師・小沢一郎（公財）都市づくりパブリックデザインセンター顧問
		30. 7. 5	リニア中央新幹線伊那谷・木曽谷経済活性化協議会が2018年度総会を開催（飯田商工会館）。		
30. 7. 10	リニア工事の入札談合事件で独占禁止法違反で起訴された裁判の初公判が東京地裁で開廷。 ・大林組、清水建設が起訴内容を認める			30. 7. 19	喬木村阿島北リニア対策協議会が説明会を開催。 ・ＪＲ東海が用地取得のための土地価格の決め方などについて説明
		30. 7. 27	県道伊那生田飯田線天竜川宮ヶ瀬橋架け替え促進期成同盟会の本年度総会開催（松川町役場）。	30. 7. 25	豊丘村第15回リニア対策委員会開催。 ・ＪＲ東海が新幹線工事に伴う道路改良の進捗状況等を説明 ・ヤード整備工事を今秋に着手
		30. 8. 1	県道上飯田線改良促進期成同盟会の本年度総会開催（喬木村役場）。	30. 8. 1	飯田市がリニア関連工事移転対象者への代替地登録制度の閲覧を開始。
30. 8. 24	リニア工事の入札談合事件で独占禁止法違反で起訴された清水建設の公判が結審。 ・大林組が罰金2億円を求刑			30. 8. 24	座光寺上河原地区説明会開催。 ・中部電力が飯田変電所からリニア受電施設につなぐ送電線ルートと工事について説明

国・県外・J R 東海の動き		長野県内の動き		飯田 下伊那地域の対応	
30. 9. 6		30. 8. 30	下條村が第2回リニア残土処理地計画特別委員会を開催。	30. 8. 29	大鹿村で伊那山地トンネル青木川工区工事説明会開催。 ・来年1月頃ヤード整備に着手することを示す
	J R 東海がリニア伊那山地トンネル戸中・壬生沢工区の施工業者と工事契約を締結。 ・飛鳥建設・市川工務店JV	30. 9. 6	県が2017年度実施の環境調査に対する助言をJ R 東海に通知。	30. 9. 6	大鹿村リニア連絡協議会開催。 ・J R 東海が青木川工区の工事について説明
30. 9. 13	リニア工事の入札談合事件で独占禁止法違反で起訴された大林組の公判が結審。 ・検察が罰金2億円を求刑	30. 9. 6	県議会危機管理建設委員会がリニア関連道路、三遠南信自動車道の現地調査を実施。	30. 9. 11	喬木村阿島北地区で用地補償説明会開催。 ・用地取得の手順や補償額算定方法を説明
				30. 9. 11	飯沼丹保北条地区説明会開催。 ・飯田市が代替地候補地の路線測量について説明
				30. 9. 18	阿智村リニア対策委員会開催。 ・J R 東海が清内路の村道1-20号線の改良工事を説明
		30. 9. 20	県・飯田市がリニア関連道路整備に伴う飯田都市計画道路の変更案の縦覧開始。	30. 9. 19	飯沼北条地区で説明会開催。 ・土地利用を制限する地区計画の素案叩き台を示す
30. 9. 26	県と大鹿村の委託により工事の安全性を審議する第三者委員会が発足、初会合を開催。	30. 9. 21	大鹿村全村民対象説明会を開催。 ・伊那山地トンネル青木川工区の工事施工手順、安全対策、環境保全などを説明	30. 9. 25	リニア駅周辺整備第4回ワークショップ開催。 ・デザインチームから基本デザイン修正案を説明
		30. 9. 26	豊丘村第16回リニア対策委員会開催。 ・中部電力が設置する下伊那発電所に係る工事の確認書案を提示	30. 9. 28	松川町生田3区打ち合わせ会開催(松川町役場)。 ・生田地区内の発生土処理候補地の2箇所を取り下げることと一致
				30. 10. 4	中部電力側が大鹿村リニア連絡協議会で送電線計画を説明。 ・豊丘村に建設する変電所から大鹿村への送電線建設計画を説明
			J R 東海が工事概要と環境保全計画を県と大鹿村に提出。	30. 10. 13	松川町が上片桐の農地をガイドウェイ製作・保管の候補地を断念することを表明。
30. 10. 15	J R 東海が大鹿村の伊那山地トンネル青木川工区の準備工事を開始。				
30. 10. 17	国土交通省がJ R 東海の東京、神奈川、愛知の大深度地下の使用申請を認可。	30. 10. 15	長野、山梨、岐阜県知事が恵那市で懇談。共同研究会を設置し連携を深めていくことを確認。	30. 10. 18	飯田市土地利用・都市計画審議会がリニア整備に伴う飯田都市計画の道路・用途地域の変更案について妥当とする答申。
30. 10. 19	J R 東海が南アルプストンネル工事に伴う湧水を全量大井川に戻すとする利水者との基本協定書を公表。	30. 10. 24	リニア中央新幹線を地域振興に活かす伊那谷自治体会議を開催(飯田市)。 ・自動運転を新幹線開業後のまちづくりに活かす「リニア・モビリティ革命と都市・地域フォーラム」を併せて開催		
30. 10. 22	東京地裁がリニア工事を巡る談合事件で大林組と清水建設に罰金判決。ゼネコン4社の共謀を認定。	30. 10. 24	阿部知事が大鹿村で「しあわせ信州移動知事室」を開催。 ・小笠川非常口の視察、村民との意見交換など		
30. 11. 1	J R 東海が中央アルプストンネル山口工区の斜坑掘削の安全祈願式を執行。				
30. 11. 9	J R 東海が入札談合事件の大林組、清水建設に対し5カ月間の工事入札参加資格停止の処分を通知。	30. 11. 17	国道153伊南バイパス未開通区間全9.2Kmが全通。	30. 11. 21	飯田市リニア長野県駅周辺整備区域に設置する施設に関するアイディアを民間事業者から聞く意見交換会を開催(飯田市役所)。

国・県外・ＪＲ東海の動き		長野県内の動き		飯田下伊那地域の対応	
30.11.28	ＪＲ東海が東京都品川区の北品川非常口を報道関係者に公開。			30.11.26	松川町生田で「生田３地区打ち合わせ会」を開催。 ・発生土処理場候補地のうち丸ボッキ地籍の候補地は新組織を立ち上げて検討することを決定
30.12.13	発生土を腐ケ泉沢、半の沢に埋め立てる計画を審議する技術検討委員会が開催される（東京都内）。	30.12.7	県都市計画審議会が飯田市のリニア関連都市計画道路の変更案を原案通り議決。	30.11.29	牧野飯田市長が甲府・中津川市長と共に「2027年のリニア中央新幹線開業を見据えたまちづくりシンポジウム」に出席。まちづくりなどの取組みについて報告(名古屋市)。
30.12.18	ＪＲ東海伊那山地トンネル坂島工区の「残土仮置き場の保全計画報告書」を公表。	30.12.15	県道松川インタン一大鹿線の西下トンネルが開通。	30.12.2	飯田市飯沼北条地区で説明会開催。 ・丹保代替地計画案、国道153号に接続する新設道路のルート案を公表
30.12.20	ＪＲ東海がリニア新幹線試験車両ＬＯ系改良型の製作を発表。	30.12.17	長野県がＪＲ東海が行う青木川工区の環境保全計画に対する助言をＪＲ東海に送付。	30.12.2	飯田市がリニア駅周辺整備に関する住民説明会を開催。 ・基本設計案を説明
<2019> 31.1.22	ＪＲ東海ガイドウェイ建設に伴う「残土置き場に関する保全計画報告書」を県、村に送付。			30.12.14	飯田市の市議会がリニア推進特別委員会に北条丹保地区に70～75区画の移転代替地を設置する整備案を説明。
				30.12.20	大鹿村第10回リニア連絡協議会が開催。 ・残土の運搬計画、活用について説明
				30.12.25	ＪＲ東海が喬木村堰下地区のガイドウェイ関連施設に関する住民説明会を開催。
31.1.10	豊丘村第17回リニア対策委員会を開催。 ・ＪＲ東海が伊那山地トンネル坂島工区のヤード整備を説明			31.1.24	松川町リニア建設工事対策委員会開催。 ・残土処分候補地の生田地区3箇所のうち2箇所を取り下げることを確認
31.2.1	リニア中央新幹線建設促進飯伊地区・三遠南信道路建設促進南信地域の定期総会を開催（飯田市）。	30.2.1	国道153号下市田-本郷間改良促進勉強会が松川町、高森町、飯島町、中川村により開催（松川町役場）。	31.2.1	下條村第3回リニア残土処理地計画特別委員会が開催。
31.2.15	阿部長野県知事と金子ＪＲ東海社長が会談(都内ＪＲ東海本社)。 ・知事が防音防災フード、水資源保護などの配慮を求める			31.2.4	・村の後利用計画を説明
31.2.27	リニア残土を大鹿・中川村に埋め立てる計画を審議する技術検討委員会の第2回目が開催される（東京都内）。	31.3.1	長野県が伊那山地トンネル坂島工区発生土仮置き場の環境保全計画に対する助言をＪＲ東海に通知。	31.2.7	喬木村阿島北リニア対策協議会が開催。 ・JR東海が阿島トンネル以東の本線用地取得範囲を明示
31.3.7	ＪＲ東海がリニア名古屋駅の工事現場を報道関係者に公開。	31.3.11	「リニア中央新幹線整備を地域振興に活かす伊那谷自治体会議」開催(飯田市)。 ・地域振興のための新組織を立ち上げる方針を了承	31.2.15	阿智村が中央アルプストンネル萩の平非常口建設工事に関わる確認事項をＪＲ東海、鉄道建設運輸施設整備支援機構、長野県と締結。
31.3.11			ＪＲ東海伊那山地トンネル坂島工区でヤード整備作業を開始。	31.3.2	飯田市移転代替地に関する説明会開催(座光寺)。 ・唐沢・宮の前代替地を2020年度末までに完成させることを説明
		31.3.13	中川村リニア対策協議会開催。 ・JR東海が村内の残土を移動したことを陳謝	31.3.12	南信州広域連合がアリーナ機能を中心とした複合施設について先進事例を研修。
				31.3.18	飯田市議会がリニア推進特別委員会開催。 ・飯田市がリニア工程表2019年版を示す

国・県外・J R 東海の動き		長野県内の動き		飯田 下伊那地域の対応	
31. 3. 26	発生土を薦ヶ巣沢に埋め立てる計画を審議する技術検討委員会が開催される（東京都内）。	31. 3. 27	長野県が喬木堰下地区残土置き場計画の環境保全計画に対する助言を J R 東海に通知。 長野・岐阜・山梨の 3 県知事が中間駅整備に関する要望を J R 東海本社と国土交通省に対し行う。	31. 3. 26	リニア駅周辺整備デザイン会議開催。 ・木の大屋根デザインなど概要を了承 大鹿村第11回リニア連絡協議会開催。 ・JR東海がトンネル掘削の進捗状況など報告
		31. 3. 28	県道松川インター大鹿線の東山トンネルが開通。		
31. 4. 25	J R 東海が2019年 3 月期決算が売上、純利益とも 7 年連続で過去最高を記録したことを発表。			31. 3. 30	飯田市長が甲府・中津川市長と懇談（飯田市）。 ・リニア騒音対策などで3市合同でJR東海に求めていくことで一致
令和 元. 5. 20	国土交通省スーパーパームガリージョン構想検討会が最終とりまとめを発表。	31. 4. 8	中央アルプストンネル山口工区山口非常口付近で崩落（陥没）が発生。 県が中部経済連合会とリニアを生かした連携について意見交換（長野市）。	31. 4. 3	喬木村堰下ガイドウェイヤード付帯工事の安全祈願祭が執行される。
元. 6. 6	リニア中央新幹線建設促進期成同盟会が本年度総会を開催（東京都内）。 ・静岡県など未着工区間の早期着手を決議	31. 4. 11		31. 4. 11	豊丘村第18回リニア対策委員会開催。 ・JR東海から伊那山トンネル戸中・主生沢工区の発生土運搬等について説明 ・中部電力が佐原に設置する変電所の用地造成工事の概要を説明
元. 6. 25	J R 東海が2018年度のリニア沿線 1 都 6 県の環境調査の結果を公表。			31. 4. 26	下條村第 4 回リニア残土処理地計画特別委員会開催。 ・村が後利用計画のイメージ図を示す
元. 7. 12	発生土を半の沢、薦ヶ巣沢に埋め立てる計画を審議する技術検討委員会の第 4 回会合が開催（東京都内）。 ・県の土盛り計画を承認	令和 元. 5. 28	鉄道建設・運輸施設整備支援機構が、山口村の崩落はトンネル工事の工法が原因と発表。	令和 元. 5. 9 元. 5. 16	飯田市が陸奥寺 S I C の工事説明会を開催。 ・今月からSIC準備工事に着手する J R 東海が飯沼北条地区で住民説明会開催。 ・風越山トンネルをセールド工法で掘削することを説明
		元. 7. 10	県環境審議会の専門委員会が第 2 回会合を開催（山梨県大月市）。 ・沿線各県の騒音基準準定状況を検討。山梨実験線の走行音を視察	元. 6. 9 元. 6. 25 元. 7. 10 元. 7. 31	豊丘村の残土置き場候補地の地権者団体が臨時総会を開催し、候補地の使用に同意することを議決。 大鹿村第12回リニア連絡協議会を開催。 ・JR東海が、小渋川非常口斜坑の掘削工事が完了したと報告 阿智村と J R 東海がリニア中央新幹線状況報告会を清内路地区で開催。 ・JR東海が萩の非常口までの村道 1-20号道路改良計画や発生置き場候補地について説明 リニア中央新幹線建設促進県協議会総会が開催（飯田市内）。 ・2027年開通を確実に実現するよう求める決議
元. 8. 2	J R 東海が豊丘村本山残土置き場計画に係る環境保全計画を公表し、県・村に送付。 J R 東海が大鹿村内の残土置き場計画に係る環境調査と環境検討の結果を公表し、県・村に送付。 J R 東海がリニア中央新幹線名古屋駅建設工事現場の在来線との交差部分の工事を報道陣に公開。 J R 東海が天竜川橋梁と喬木村内の高架橋を新設する工事業者の募集を開始。	元. 8. 1	松川町、大鹿村、中川村による主要地方道伊那生田飯田線天竜川架橋宮ヶ瀬橋架け替え促進期成同盟会が総会を開催（松川町役場）。		
元. 8. 8		元. 8. 6	県が J R 東海の豊丘村本山と中川村に設置する残土置き場の計画について意見募集を開始。 9 月 6 日まで。	元. 8. 6 元. 8. 8	下條村でリニア中央新幹線関連工事対策協議会が発足。 飯田市が吉沢・宮の前代替地整備事業に係る説明会を開催（座光寺地区）。 ・代替地内の市道95号線、同282号線の整備について説明
		元. 8. 23 元. 8. 26	中川村リニア対策協議会開催。 ・県と J R 東海が半の沢埋め立て計画を説明 南木曾町がリニア関連工事の確認事項について、町と県、J R 東海、鉄道運輸機構の 4 者で締結したことを発表。		
元. 8. 23	J R 東海が大鹿村の小渋川非常口斜坑から先進坑掘削工事を開始。	元. 8. 28	中川村で半の沢埋め立て計画について流域住民向け説明会を開催。	元. 9. 3	上郷飯沼南地区で国道153号飯田北改良に関する説明会開催。 ・県が飯沼交差点の接続道路の設計図を示す

国・県外・J R 東海の動き		長野県内の動き	飯田 下伊那地域の対応
元. 10. 3 元. 11. 8 元. 11. 22 元. 11. 26 元. 12. 11	J R 東海が山梨実験線の試乗会を、新型車量投入準備のため10月を以って当分の間休止することを発表。	元. 9. 10 リニア中央新幹線を地域振興に活かす伊那谷自治体会議開催(飯田市)。 ・リニアバレー構想実現に向け具体的な目標設定と工程表を作成することを決定 リニア中央新幹線の騒音基準を適用する範囲などを検討する県環境審議会の専門委員会第3回目の会合を開催(飯田市)。 ・騒音基準適用範囲の検討など	
	J R 東海が中央アルプストンネル工事の萩の平・広瀬工区の環境保全計画を県と阿智村に提出。	元. 9. 12 県環境審議会開催。 ・県が南木曾町妻籠水道水源地保全地区で実施したモニタリング結果を示す	元. 9. 11 飯田市が駅周辺整備デザイン会議を開催。 ・「大屋根」など基本設計の最終案を公表。概算事業費を91億円と見込む
	J R 東海がリニア神奈川駅の起工式を挙行。		元. 9. 12 飯田市まちづくり委員会連絡会開催。 ・市が座光寺SIC建設工事の発生土を山本湯川と千代毛呂窪へ搬送する計画を示す
	J R 東海が岐阜県日吉トンネル南垣外工区の工事現場を報道陣に公開。	元. 9. 18 上郷北条地区で住民説明会を開催。 ・駅周辺整備の基本設計案を説明	元. 9. 18 上郷北条地区で住民説明会を開催。 ・駅周辺整備の基本設計案を説明
	J R 東海が北品川非常口工事完成を発表。	元. 9. 25 県が大鹿村釜沢地区の残土仮置き場についてのJ R 東海の影響調査について助言を同社に通知。	元. 9. 19 南信州広域連合が連合会議を開催。 ・アリーナを中心とした複合施設は公設民営または民設民営で進めることを確認
		元. 10. 15 駒ヶ根市中沢区でリニア残土を活用するための「新宮川岸開発委員会」が発足。	元. 9. 20 大鹿村リニア連絡協議会開催。 ・リニア工事の進捗状況の報告 ・残土を利用した篤ヶ黒沢の盛土計画を説明
		元. 11. 15 県環境審議会の専門委員会が第4回会合を開催(長野市)。 ・騒音環境基準を適合する範囲を軌道中心から400mとすることを確認	元. 10. 2 大鹿村の工事車両用迂回路について全地権者と合意したとJ R 東海が発表。
		元. 12. 11 南木曾町がJ R 東海とリニア工事について水道水源と工事用道路に関する協定を締結。	元. 11. 5 飯沼北条地区で住民説明会開催。 ・駅周辺の雨水排水処理計画、新設道路、交差点改良計画等の説明
		元. 12. 12 県環境審議会の専門委員会が騒音基準適用範囲の飯田市提案について意見公募を開始。	元. 11. 13 座光寺上郷道路に関する住民説明会を開催(原宮崎地区)。 ・土管川大橋～県道飯島飯田線区間の工事状況など説明
			元. 11. 19 飯田市都市計画審議会がリニア駅周辺の立地適正化計画案を諮問とおり決定することを妥当と答申。 元. 11. 30 座光寺SIC工事業者が安全祈願祭を挙行、本格工事開始。 元. 12. 3 松川町リニア中央新幹線建設工事対策委員会が第8回印刷鑑を開催。 ・リニア残土を活用した元大島古町・前河原間の道路新設改良案を町が説明
<2020> 2. 1. 14	J R 東海と県、関係市町村長がリニア中央新幹線に関する意見交換会を開催(飯田市南信消費生活センター)。	元. 12. 17 南信州広域連合の検討委員会がアリーナ機能を中心とした複合施設は「リニア駅近郊が望ましい」とする意見書を広域連合に提出。 元. 12. 16 下久堅小林地区で住民説明会を開催。 ・残土処分候補地の造成計画と安全対策を説明	元. 12. 17 南信州広域連合の検討委員会がアリーナ機能を中心とした複合施設は「リニア駅近郊が望ましい」とする意見書を広域連合に提出。 元. 12. 18 大鹿村リニア連絡協議会開催。 ・JR東海が伊那山地トンネル青木川工区の残土置き場を深ヶ沢に設置する計画を示す
		2. 1. 14 県が中央アルプストンネル萩の平・広瀬工区についてJ R 東海が作成した環境保全計画に対する助言を同社に通知。	元. 12. 23 飯田市がリニア関連事業の代替地に關する住民説明会を開催。 ・丹保・北条地区の代替地造成計画を説明 飯田市が丹保北条代替地の購入受付を開始。

下條村リニア中央新幹線関連工事対策委員会の第2回会合を開催。
・村とJR東海が事業内容を明確化する協定書を作成し年度内に締結する方向を示す

国・県外・ＪＲ東海の動き		長野県内の動き		飯田下伊那地域の対応	
2. 1. 29	ＪＲ東海が北品川非常口～等々力非常口間を掘削するシールドマシンを公開（三菱重工神戸造船所）。	2. 1. 29		2. 1. 23	豊丘村第20回リニア対策委員会開催。 ・JR東海が戸中非常口養生土置き場の造成計画を示す
2. 2. 7	ＪＲ東海が伊那山トンネル青木川工区の残土処分計画地の環境調査と保全計画報告書を県と村に送付。 釜沢の残土仮置き場計画地拡幅に関する報告書を併せて公表。	2. 2. 7	県環境審議会の専門委員会がリニア本線地上部の騒音基準の適用範囲について答申案をとりまとめ。 ・本線中心線から400mの範囲とする	2. 1. 29 2. 2. 7 2. 2. 8 2. 2. 14	松川町リニア中央新幹線建設工事対策委員会開催。 ・飯田市が大鹿村からの残土を上郷代替地へ搬送するルートを説明 リニア中央新幹線建設促進飯伊地区・三遠南信道路建設促進南信地域の定期総会開催（飯田市内）。 座光寺地区で唐沢・宮の前代替地整備に係る道路改良の工事説明会を開催（座光寺公民館）。 南信州広域連合が連合会議を開催。 ・アリーナを中心とする複合施設を整備検討事業とする
2. 3. 3 2. 3. 10 2. 3. 24 2. 3. 25	ＪＲ東海金子社長がリニア静岡工区の年度内着工を断念することを記者会見で表明。 阿部知事と金子ＪＲ東海社長が会談（長野県庁）。 ・知事が防音防炎フード設置や残土置き場早期確定などを要望。 ＪＲ東海が改良型のリニア車両を公開。	2. 2. 12 2. 2. 21 2. 3. 3	県がＪＲ東海の大鹿村深ヶ沢の残土置き場と同除山の残土仮置き場の環境調査と保全計画に対する意見募集を開始。 県が中川村半の沢に残土を埋め立てる計画について、有識者検討委員会の意見により修正した設計、安全管理計画を同村に交付。 中川村で飯田市内の代替地整備への搬送についての沿線住民説明会を開催。 ・飯田市が搬送計画と環境対策について説明	ＪＲ東海が大鹿村釜沢非常口の掘削を開始。	
2. 4. 16 2. 4. 17 2. 4. 25 2. 4. 27 2. 5. 7	ＪＲ東海が、４月１日から15日までの東海道新幹線の利用者数が前年同期比△85%だったと発表。 鹿島と大林組が新型コロナウイルスの緊急事態宣言を受け5月6日まで全国の建設現場で工事を止めることを発表。 新型コロナウイルス緊急事態宣言により、ＪＲ東海が新型コロナウイルス感染拡大により長野県内を含む20箇所です工事を中断したことを発表。 ＪＲ東海金子社長が、新型コロナウイルス感染拡大により長野県内を含む20箇所です工事を中断したことを発表。 ＪＲ東海が新型コロナウイルス緊急事態宣言により中断していた南アルプストンネル長野工区の工事を再開。	2. 4. 1	県の組織改正により南信州地域振興局に「リニア活用・企画振興課」がスタート。	2. 3. 13 2. 3. 25 2. 4. 1	飯田市が「リニア推進ロードマップ2020年度版」を市議会 会リニア推進特別委員会に示す。 大鹿村リニア連絡協議会が開催。 ・ＪＲ東海がリニア関連工事の進捗状況を報告。青木川工区掘削は夏頃 ・村が鶯ヶ巣環境対策事業の設計照査結果の概要を示す 飯田市と中日本高速道路㈱名古屋支社が座光寺に設置するスマートインターの名称を「座光寺スマートインターチェンジ」とすることを発表。
2. 5. 7	リニア中央新幹線建設促進期成同盟会（沿線9府県）が南アルプストンネル静岡工区の早期着手などを求める要望書をＪＲ東海、国土交通省に提出。	2. 5. 26 2. 6. 9 2. 6. 24	県が大鹿村残土置き場に関する環境保全計画に対し助言をＪＲ東海に通知。 県森林審議会が豊丘村本山残土置き場予定地の保安林解除申請を審議するため現地調査を実施。 県森林審議会を飯田市内で開催。解除は適切とする答申を県に行うことを決定。 中川村リニア対策協議会開催。 ・ＪＲ東海が南アルプストンネル残土を半の沢に埋め立てる計画で、県が盛り土の管理を将来的に引き継いでいくことを説明	2. 5. 11 2. 6. 23 2. 6. 24 2. 6. 24	飯田市が大鹿村内の残土を市内代替地で活用するため搬出を開始。 北条地区住民説明会を開催。 JR東海が風越山トンネル工事の工法や、残土搬出のルートなど県と協議中であることを報告 喬木村リニア連絡協議会開催。 移転する工場の代替地造成にリニア残土を活用することを説明 大鹿村リニア連絡協議会開催。 ・JR東海小沢川非常口からの先遣抗掘削は3割の進捗と発表 ・青木川非常口は準備完了後トンネル掘削を開始する

国・県外・J R 東海の動き		長野県内の動き		飯田 下伊那地域の対応	
	も、知事はこれを認めず			2. 6. 26	松川町リニア中央新幹線建設工事対策委員会開催。 ・生東地区の残土置き場底補地を町の主導で生田3区と交渉を続けることを確認
2. 6. 29	J R 東海が川勝静岡県知事との会談での準備工事で着手の可否を文書で照会。			2. 6. 30	喬木村阿島北対策協議会開催。 ・天竜川橋梁工事計画の概要を説明 ・J R 東海が日陰補償の対象となる場所の検討結果を公表
2. 7. 10	国土交通省藤田事務次官が川勝静岡県知事と会談。 ・次官の準備工事容認の提案を川勝知事が拒否する考えを示す			2. 7. 9	J R 東海が戸中の残土置き場に関する保全措置計画を公表。 ・J R 東海が土地を取得し、造成後も管理を行う方針を示す
2. 7. 13	J R 東海が天竜川橋梁と喬木村内高架橋工事契約を	2. 7. 12	三井住友建設・極東興和・ドビー建設工業JVと締結。 7月大雨の影響で、大鹿村内の県道赤石公園線で地滑りが発生、通行止めとなる。 J R 東海が除山非常口、釜沢非常口からの斜坑掘削工事を休止。		
2. 7. 15	J R 東海金子社長が静岡県内の工事着手ができないと2027年中の開業は難しいと述べる。			2. 7. 15	豊丘村第21回リニア対策委員会開催。 ・本山の残土処分場はJ R 東海が土地と残置森林を取得し、恒久的に管理することを説明
		2. 7. 16	リニア中央新幹線建設促進長野県協議会の総会開催（飯田合同庁舎）。 ・確実な2027年開業を求める決議を採択		
2. 7. 17			中川村でリニア残土を村内半の沢に埋め立てる計画の説明会開催。 県環境影響評価技術委員会を開催（県庁）。 ・リニア残土を豊丘村戸中地区に埋め立てる計画を議論		
			J R 東海が伊那山地トンネル青木川非常口の掘削を開始。	2. 7. 18	飯田市が座光寺唐沢・宮の前代替地整備について工事説明会を開催（座光寺公民館）。 ・今月27日に準備工事に着手することを説明
2. 7. 31	J R 東海が4～6月期連結決算を発表。 ・売上高前年同期比△72%、最終損益△726億円			2. 7. 28	下條村が第3回リニア関連工事対策協議会を開催。 ・残土処理候補地の測量を実施することを説明
2. 8. 3					
2. 8. 17	J R 東海が山梨実験線でリニア新幹線L0型改良車両の走行試験を開始。	2. 8. 18	中川村がリニア残土の運搬の住民向け説明会を開催（中川村渡場地区）。 南木曽町が中央アルプストンネル萩野平・広瀬工区の広瀬非常口からの掘削工事について、工事用車両通行等に関する確認書をJ R 東海、鉄道運輸機構と締結。 県環境影響評価技術委員会を開催。 ・中央アルプストンネル萩の平・広瀬工区の南木曽町一阿智村間の環境保全計画を審議	2. 8. 17	阿智村で第1回リニア対策委員会開催。 ・萩野平工事ヤードへの村道改良工事の内容を説明
2. 8. 24	J R 東海が中央アルプストンネル萩の平・広瀬工区の広瀬非常口に連じる町道改良工事を開始することを発表。			2. 9. 19	飯田市が北条・丹保代替地の移転対象者向け見学会を実施。
				2. 9. 26	座光寺スマートインターチェンジ新大久保橋の橋桁設置作業を同日深夜に実施。
				2. 9. 29	J R 東海が喬木村リニア対策委員会で天竜川橋梁の準備工事を説明。 大鹿村リニア連絡協議会を開催。 ・J R 東海、県飯田建設事務所、中部電力パワーグリッドが工事状況を説明
		2. 9. 30	県がJ R 東海の示した飯田山下久堅の発生土処理場の県境保全計画に対する助言を公表。	2. 9. 30	J R 東海、鉄道運輸機構、阿智村が「リニア中央新幹線建設工事に伴う工事車両の通行等に関する確認書」を締結。
2. 10. 2			J R 東海がリニア長野県駅の工事契約手続きを開始。		

国・県外・ＪＲ東海の動き		長野県内の動き		飯田下伊那地域の対応	
2.10.28	ＪＲ東海が中間連結決算を発表。 ・売上高前年同期比△64.6%、最終損益△1,135億円 通期予想は1,920億円の赤字			2.10.27	ＪＲ東海が天竜川橋梁と喬木村の高架橋の準備工事についての説明会を開催（阿島北地区）。 ・12月より準備工事を開始 ＪＲ東海がリニア残土の下久堅処理場について工事説明会を開催（飯田市下久堅地区）。 松川町リニア対策特別委員会開催。 ・ＪＲ東海が発生土を松川ICから伊那市などに運搬する案を説明
2.11.16		2.11.11	県がＪＲ東海が示した中央アルプストンネル萩の平・広瀬工区の南木曽町・阿智村区間の環境保全計画について助言を通知。	2.11.4 2.11.5	
		ＪＲ東海が天竜川橋梁他の準備工事について環境保全計画を公表。		2.11.19	豊丘町リニア対策委員会開催。 ・ＪＲ東海が、中央アルプストンネル戸中・壬生沢工区のヤード工事に着手 ・発生土の本山処分場を12月準備工事に着手することを説明 飯田市議会リニア特別委員会開催。 ・市側が丹保代替地は73区画中37区画の購入者が決定と報告 飯田市が唐沢・宮の前代替地の申込受付を開始。北条・丹保代替地の二次募集も開始。 2.12.1 2.12.1 喬木村が伊久間工業団地造成へ大鹿村のリニア発生土搬入を開始。
2.11.12	ＪＲ東海が名古屋市の名城非常口を報道陣に公開。	2.11.24	県がリニア地上部の騒音基準について、類型と範囲を指定。	2.12.9	中川村村長がリニア残土を半の沢に埋め立てる計画を了承する考えを議会に表明。
2.12.10		ＪＲ東海が飯田市内下久堅に設置する残土置き場について環境保全措置計画を公表。		2.12.11	大鹿村第18回リニア連絡協議会開催。 ・ＪＲ東海が県道松川IC大鹿線う回路の通行止め解除に伴い、飯田市と喬木村への残土搬出を開始したことを報告
2.12.22	公正取引委員会が、リニア中央新幹線談合について独占禁止法違反を認定、セネコン4社（大林組、鹿島、清水建設、大成建設）に排除措置命令。大林組に31億円、清水建設に12億円の課徴金納付命令。	2.12.14		2.12.21	飯田市議会がリニア関連事業の移転住民が農振除外を求めた場合の手続きの迅速化などを求める要望書を市に出す。 ・ＪＲ東海が2027年開業は困難なことを説明
2.12.24		国が豊丘村本山の残土処分計画地の保安林指定を解除し、官報で告示。		2.12.25	松川町リニア中央新幹線工事対策委員会開催。 ・ＪＲ東海から残土運搬経路について協議経過を説明 飯田市が上郷・座光寺地区の移転対象者に集合住宅への移転に関する意向調査を実施。 ＪＲ東海が豪雨で起きた県道の地滑りの対策工事が進められ通行止めが解除されたことから、除山・益沢非常口の掘削を再開。
<2021> 3.1.25 3.1.29		ＪＲ東海が天竜川橋梁の準備工事を開始。		3.1.12 2.1.19	
	ＪＲ東海の2年10～12月期の連結純利益は前年同期比△98%の20億円と3四半期ぶりに黒字を確保。			3.2.9	伊那谷自治体会議において、佐藤飯田市長がリニア長野県駅から接続する乗換新駅を「設置ありきでなく、新交通システムでの接続を検討」することを提案。
		3.2.16			県、飯田市、ＪＲ東海による第1回リニア中央新幹線及びその関連工事に係る三者調整会議を開催（飯田市役所）。

国・県外・ＪＲ東海の動き		長野県内の動き		飯田下伊那地域の対応		
3. 3. 1	リニア中央新幹線建設工事を巡る談合事件の東京地裁公判で、独占禁止法違反罪に問われた大成建設と鹿島の元幹部２名と法人同社についていずれも有罪の判決。 ＪＲ東海が談合事件で有罪判決の大成建設と鹿島に６カ月間の指名停止処分。	3. 2. 26	長野県がＪＲ東海に対し、風越山トンネル工事に関する水資源調査についての助言を通知。			
3. 3. 9		3. 3. 16	中川村リニア対策協議会開催。 ・村が半の沢の残土盛り土計画で県が無制限に管理するとする確認書案を示す	3. 3. 8 飯田市議会リニア推進特別委員会開催。 ・飯田市がリニア新幹線及び関連事業の工程表を修正し、提出 3. 3. 10 ＪＲ東海が座光寺自治組織に対し、地区内地上区間の環境対策工案を説明。 ・防音防炎フード延長、緩衝工の配置、防音壁の高さ上げなど 3. 3. 18 松川町リニア対策委員会開催。 ・ＪＲ東海が残土を松川IC経由で伊那市に搬出する計画を示す 3. 3. 24 大鹿村第19回リニア連絡協議会開催。 ・村内工事状況を説明、県道松川IC大鹿線の改良工事を完了見通しを示す 3. 3. 27 丸山地区で風越山トンネル黒田工区の住民説明会開催。 ・ＪＲ東海が3年度から準備工事を開始することを説明 3. 3. 28 中央自動車道座光寺スマートインターが開通。 3. 3. 29 喬木村リニア対策委員会開催。 ・ＪＲ東海が天竜川橋梁と村内高架橋の準備工事について案を示す 3. 3. 30 阿智村リニア対策委員会開催。 ・萩野平ヤードへの村道拡幅工事について報告		
3. 4. 19 3. 4. 27		ＪＲ東海が、リニア東海の2021年３月期連結決算は、売上高8,235億円（対前期比△55.4％）、最終損益△2,015億円と発表。 ・リニア中央新幹線の総工費が、難工事対応などで1.5兆円増となると発表 ＪＲ東海が南アルプストンネル山梨工区の広河原非常口の斜坑を報道機関に公開。	3. 5. 13	阿部長野県知事がＪＲ東海金子社長とオンライン会談。 ・知事が27年のリニア開業を要望	3. 5. 14 喬木村で住民説明会開催。 ・ＪＲ東海が、防音防災フードの延伸と防音壁の高さを引き上げる案を示す 3. 5. 24 豊丘村第23回リニア対策委員会開催。 ・ＪＲ東海が、伊那山地トンネル戸中非常口を6月、坂島非常口を7月に掘削開始を表明	
3. 5. 12		3. 6. 2	県、飯田市、ＪＲ東海による第２回リニア中央新幹線及びその関連工事に係る三者調整会議を開催（飯田市役所）。 高森町で住民説明会開催。 ・下市田のガイドウェイ製作・保管ヤード予定地の造成工事にかかる運行計画を説明			
3. 6. 20	静岡県知事選挙投票が行われ、現職の川勝平太氏が四選。 ＪＲ東海が株主総会を開催。 ・宇野副社長が株主からの質問に「リニアルート変更はあり得ない」と回答	3. 6. 12	中川村リニア対策協議会開催。 ・ＪＲ東海が半の沢埋め立て地の準備工事を7月に着手することを報告	3. 6. 24 座光寺地区で座光寺上郷道路工事説明会開催。 ・県飯田建設事務所が7月から土曾川渡河部分の構造物設置工事に着手することを説明		
3. 6. 24		ＪＲ東海がリニア長野県駅設置工事契約を清水建設と締結。				
		3. 6. 28 3. 6. 30	ＪＲ東海が県内の2020年度環境調査の結果を公表。 飯田市が整備している北条・丹保代替地造成工事が完了。	3. 6. 24 大鹿村リニア連絡協議会開催。 ・ＪＲ東海、中部電力パワーグリッドが工事の進捗状況を報告		
3. 6. 30		ＪＲ東海が伊那山地トンネル戸中・壬生沢工区の斜坑掘削を開始。				
				3. 7. 5 佐藤飯田市長が、熱海市土石流災害を踏まえ、ＪＲ東海に対し残土置き場の安全対策を徹底するよう要請。		

国・県外・J R 東海の動き		長野県内の動き		飯田 下伊那地域の対応	
3. 7. 16				3. 7. 9	松川町第16回リニア中央新幹線建設工事対策委員会開催。 ・JR東海が、松川ICを利用する残土運搬計画の最終案を示す リニア中央新幹線建設促進県協議会が総会を開催（県飯田合同庁舎）。 ・熱海市土砂災害を踏まえ、残土置き場の安全確保などをJR東海に求める決議を採択 ・JR東海が中央アルプストンネル松川工区は斜坑設置により掘削を進めることを表明
				3. 7. 14	高森町が下市田産業用地造成工事で大鹿村の残土搬入を開始。
				3. 7. 12	
				J R 東海が、伊那山地トンネル坂島工区の斜坑掘削を開始。	
3. 7. 22		3. 7. 30		3. 7. 22	松川町リニア建設工事対策委員会開催。 ・ J R 東海が分散と台数低減要請を踏まえた残土運搬ルートを示す
				県産材振興対策協議会が、飯田市長にリニア駅周辺整備での県産木材活用促進を求める要望書を提出。	
				3. 8. 2	喬木村リニア対策委員会開催。 ・JR東海が天竜川橋梁本体工事を9月に準備工、10月から河川内工事に着手することを説明
3. 8. 27		J R 東海が天竜川橋梁本体工事（喬木村側）の環境保全計画を公表、県、飯田市、高森町、豊丘・喬木村に送付。			
3. 9. 6		J R 東海が中央アルプストンネル松川工区の斜坑掘削工事を開始。			
3. 9. 21		J R 東海が伊那山地トンネル青木川工区で本坑掘削を開始したことを発表。			
3. 9. 30	J R 東海が完成した東百合丘非常口（川崎市麻生区）を報道陣に公開。	3. 9. 30	県が中川村の県道松川インター大鹿線の拡幅工事が完成し、11月7日から常時対面通行とすることを発表。	3. 9. 28	大鹿村リニア連絡協議会開催。 ・JR東海が南アルプストンネル長野工区の先進坑の掘削は7割完了したと報告 ・伊那市への残土運搬を10月から開始する
3. 10. 1		J R 東海が天竜川橋梁本体工事に着手。			
3. 10. 14	J R 東海が品川区でシールド工法による試掘を開始。 J R 東海がリニア中部総合車両基地予定地の造成工事を開始。	3. 10. 1	伊那市が大鹿村のトンネル発生土を伊那インター工業団地への搬出を10月25日から開始すると発表。	3. 10. 8	豊丘村リニア対策委員会開催。 ・中部電力が佐原の変電所建物建設工事を4日から着手したことを報告 ・JR東海が伊那山地トンネル戸中・生沢工区と坂島工区の進捗状況を報告
		3. 10. 20	県が天竜川橋梁について J R 東海が発表した環境保全計画に対する助言を同社に通知。	3. 10. 20	松川町リニア中央新幹線建設工事対策委員会開催。 ・JR東海がトンネル発生土の町内の運搬計画を説明。今月末まで試験走行期間とする
				3. 10. 20	喬木村が移転対象者に準備する阿島北地区の宅地造成について工事説明会を開催。
3. 10. 27	リニア瀬戸トンネル（岐阜県中津川市）で坑道が崩落し、作業員1人死亡、1人重傷する事故となる。				
3. 10. 28	J R 東海が瀬戸トンネル事故は坑道表面が剥落する「肌落ち」であることを発表。 リニア中央新幹線14箇所全ての掘削現場の工事を一時中断して安全点検を実施することを表明。				
3. 11. 1		J R 東海が瀬戸トンネル事故により中断していた掘削工事を一部再開したことを発表。 ・県内の南アルプストンネル長野工区、伊那山地トンネル青木川工区、坂島工区、戸中・生沢工区も工事再開			
3. 11. 2	J R 東海がトンネル崩落事故により10日に予定したリニア中央新幹線岐阜県設置工事の安全祈願祭・起工式の延期を発表。			3. 11. 8 3. 11. 16	リニア中央新幹線伊那山地トンネル坂島工区で崩落事故が発生し、作業員1名が軽傷。 J R 東海が中央アルプストンネル松川工区の掘削を再開したことを発表。

国・県外・ＪＲ東海の動き		長野県内の動き		飯田 下伊那地域の対応
3.11.17	ＪＲ東海が豊丘村での崩落事故を踏まえ、緊急事態発生時の連絡体制案を南信州広域連合の会議で示す。			3.11.15 ＪＲ東海が説明会を開催し、市内の工区からの発生土を来年１月より飯田ＩＣを経由した運搬を開始することを説明。 3.12.3 喬木村がリニア天竜川橋梁からの発生土を阿島堰下のガイドウェイ工事現場への運搬を６日から開始することを発表。 3.12.6 ＪＲ東海が、小渋川非常口ー釜沢非常口間の先進抗(1.6km)が貫通したことを発表。 3.12.15 大鹿村リニア連絡協議会開催。 ・ＪＲ東海が南アルプストンネル長野工区は当初より2年延びて26年度に掘削が終了することを説明 3.12.19 松川町の県道伊那生田飯田線新宮ヶ瀬橋が開通。 3.12.21 松川町リニア建設工事対策委員会開催。 ・来年1月から3月の運搬車両の通行量の見込みを示す
3.12.19	国土交通省の有識者会議がリニア南アルプストンネル静岡岡工区について大井川の流量は維持できるとする中間報告を取りまとめる。			
3.12.21	斎藤国土交通大臣がＪＲ東海金子社長に対し大井川の水利用について地元の懸念を払拭するよう指導。			
3.12.22	ＪＲ東海幹部と県内関係市町村の首長が意見交換会を開催(県飯田合同庁舎)。 ・岐阜県、長野県で発生したトンネル事故、発生土(要対策土)の処理などについて意見交換			
3.12.22	ＪＲ東海宇野副社長が死傷者の出た岐阜県トンネル事故は、国のガイドラインに反して切羽に立ち入ったためとの認識を示す。			4.1.12 ＪＲ東海が喬木村内で地元住民との懇談会を開催(阿島北コミュニティセンター)。 ・村内高架橋区間の工事を４月にも着手する方針を示す 4.1.17 ＪＲ東海が南アルプストンネル小渋川非常口・釜沢非常口間の発生土・資機材の運搬に、貫通したした先進坑と斜坑の使用を本日から開始したことを発表。 4.1.21 ＪＲ東海が中央アルプストンネル松川工区の発生土を下久堅の処分場へ搬入を開始。 環境調査と環境影響検討結果を県と下條村に送付。 4.2.1 飯田市が座光寺共和代替地の購入希望受付を開始。
4.1.31	ＪＲ東海が2021年４～12月連結決算の営業損益が２年ぶりに黒字となったことを発表。	4.1.26	ＪＲ東海が下條村の発生土処理場計画地に係る環境調査と環境影響検討結果を県と下條村に送付。	
4.2.10	阿部県知事とＪＲ東海金子社長がオンライン会談。 ・阿部知事がトンネル工事の安全対策の徹底や残土対策などを求める			
4.3.7	ＪＲ東海がトンネル工事で、県が愛知県のトンネル工事事故を踏まえ安全管理の徹底を求めたことを受け、県内の工事を中断し安全確認を実施。	4.2.18	「リニア中央新幹線を地域振興に活かす伊那谷自治体会議」をオンラインで開催。 ・「リニアハレー構想」の検討、リニア駅からの二次交通について、飯田線乗換新駅についてなど	4.3.8 飯田市がリニア中央新幹線関連の新たな工程表を市議会リニア推進特別委員会で作表。 4.3.9 リニア伊那山地トンネル坂島工区事故が発生し、作業員２名が軽傷。 4.3.9 ＪＲ東海が上郷北条地区で住民説明会を開催。 ・リニア駅と鳳越山トンネルの計画を説明 4.3.16 喬木村リニア対策委員会を開催。 ・ＪＲ東海が村内の高架橋工事を６月までに着工することを説明 4.3.20 ＪＲ東海が喬木村阿島北地区で住民説明会を開催。 ・天竜川工区の高架区間の工事計画を説明

国・県外・ＪＲ東海の動き		長野県内の動き		飯田下伊那地域の対応	
4. 3. 30				4. 3. 24	大鹿村リニア連絡協議会を開催。 ・ＪＲ東海が南アルプストンネル長野工区の本坑掘削を６月までに開始することを説明
4. 4. 4				4. 3. 25	大鹿村観光協会がリニア発生土の搬送について「土曜日全面運休」をＪＲ東海に要請。
4. 4. 9					
4. 4. 13					
4. 4. 26					
4. 5. 30					
4. 6. 3				4. 5. 31	松川町がリニア建設工事対策委員開催。 ・ＪＲ東海が上伊那への残土運搬計画を説明
4. 6. 6					
4. 6. 8					
4. 6. 23					
4. 6. 11					
4. 6. 27					
4. 7. 1					
4. 7. 4					
4. 7. 14					
4. 7. 28					

国・県外・J R 東海の動き		長野県内の動き		飯田 下伊那地域の対応	
4. 8. 30	J R 東海が中央アルプストンネル松川ほか工区で本坑の掘削を開始。				
4. 9. 1	J R 東海が中央新幹線南アルプストンネル長野工区釜沢非常口・除山非常口の現場(先進坑・本坑)を報道陣に公開。				
			4. 9. 7	J R 東海が長野県駅と風越山トンネル工区に関する工事説明会を開催。 ・駅工区の土菅川橋梁、竜西一貫水路付替え、新戸川付替えから工事を開始することを説明	
			4. 9. 8	伊那山地トンネル戸中工区で作業員が負傷する労災事故が発生。	
			4. 9. 9	阿智村が清内路地区で村道改修工事についての懇談会を開催。 ・住民側が工事開始を了承	
4. 9. 13	川勝静岡県知事と金子 J R 東海社長が 2 回目の会談（静岡県庁）。		4. 9. 12	佐藤飯田市長が議会リニア 推進特別委員会においてリニアと J R 飯田線の接続は既存駅を活用する方針を示す。	
			4. 9. 17	飯田市が駅周辺整備についての意見交換会「リニアの駅ってどーなるの？」を開催。	
			4. 9. 20	J R 東海が長野県駅と風越山トンネル工区に関する工事説明会を開催。 ・駅工区の土菅川橋梁、竜西一貫水路付替え、新戸川付替えから工事を開始することを説明	
4. 10		J R 東海が天竜川橋梁の河川内の橋脚基礎工事を再開（喬木側）。			
			4. 10. 6	松川町リニア中央新幹線工事対策委員会開催。 ・JR東海が、発生土運搬車両が通行する町道の改良工事の進捗を報告	
4. 10. 12			4. 10. 11	大鹿村が霧ヶ峯 県環境対策事業の村民説明会を開催。	
4. 10. 24	J R 東海が長野県駅と風越山トンネル上郷工区についての環境保全計画を公表し、県と飯田市の工事を再開。				
	J R 東海が労災事故で中断していた伊那山地トンネル戸中・壬生沢工区の工事を再開。				
4. 11. 1	J R 東海が22年 9 月中間決算が 3 年ぶりに純利益黒字となったことを発表。		4. 10. 28	豊丘村リニア対策委員会開催。 ・JR東海が福島県の生活・農業用水確保の事前対策を示す	
			4. 11. 1	J R 東海が伊那山地トンネル戸中・壬生沢工区で本坑掘削を開始。	
			4. 12. 5	飯田市が長野県駅周辺整備事業の土木設計の発表会を開催（オンライン形式）。	
			4. 12. 5	J R 東海が下條村の残土置き場について住民向け説明会を開催。	
			4. 12. 7	高森町がガイドウェイ製作・保管ヤード（下市田）の工事説明会を開催。	
			4. 12. 13	下條村リニア関連工事対策協議会開催。 ・JR東海とJVが発生土埋め立て地の工事内容を説明	
			4. 12. 14	伊那山地トンネル坂島工区で作業員が腕を打撲する事故が発生。	
			4. 12. 19	阿智村が中央アルプストンネル萩の平に関する村道改良工事について住民説明会を開催。	
4. 12. 21	J R 東海と中央新幹線沿線の県内16市町村の首長とが意見交換会を実施（県飯田合同庁舎）。				
4. 12. 22	J R 東海が中央新幹線長野県駅の安全祈願祭・起工式を挙げる。				
			4. 12. 22	大鹿村リニア連絡協議会開催。 ・伊那山地トンネル青木川工区の工事についてJR東海が説明	

国・県外・J R 東海の動き		長野県内の動き		飯田 下伊那地域の対応	
				4.12.24 4.12.28	下伊那北部5町村が「リニア時代を見据えた5町村の町づくりを考えるシンポジウム」を開催(豊丘村ゆめあるで)。 松川町リニア中央新幹線対策委員会開催。 ・JR東海が1月以降の発生土運搬計画を説明
<2023> 5.1.10 5.1.30 4.2.21	J R 東海が2022年度4-12期連結決算を発表。 ・同期では3年ぶりの黒字となる J R 東海が中央新幹線山梨県内トンネルで、静岡県境までの地質を調査する高速長尺先進ボーリングを開始。				J R 東海が高森町下市田の中央新幹線ガイドウェイ側壁製作・保管施設の工事を開始。
5.2.28 5.3.2 5.3.8 5.3.9	中央新幹線駅設置工事を巡る談合で、東京地裁が鹿島および大成の2被告と法人としての2社を有罪とした一審判決を支持し控訴を棄却。 阿部県知事が金子J R 東海社長・丹羽次期社長と都内で会談。 ・静岡県内の早期着工や県内工区の早期完成、環境対策など10項目を要望 県がJ R 東海の2021年度環境調査報告書に対し助言を通知。 ・水資源減少と工事との関係をわかり易く整理することなど			5.2.22	飯田市・県が中央新幹線関連連道路工事説明会開催(北条振興センター)。 ・国道飯田北改良に伴う新戸川付替え市道新設工事など年度内に着手するか説明
	J R 東海が橋木村の天竜川橋梁から竜東一環道路交差点までの高架橋区間本体基礎工事に着手。			5.3.7	国道153号飯田北改良で新戸川函渠工事の安全祈願祭が執行される。
	J R 東海が梶ヶ谷工区でシールドマシンによる掘削を開始。			5.3.15 5.3.17 5.3.22 5.3.23 5.3.27	阿智村が清内路地区クララ沢に設置する発生土置き場についての住民説明会を開催。 J R 東海が中央新幹線風越山トンネル上郷工区本線トンネル工事の説明会を開催(上郷公民館)。 大鹿村リニア連絡会開催。 ・JR東海が要対策土の対応を説明 ・蕎麦果沢環境対策事業について 阿智村リニア対策委員会開催。 ・清内路地区クララ沢を発生土置き場とすることを了承 松川町リニア中央新幹線建設工事対策委員会開催。 ・町内の発生土運搬台数の見直しを示す
	J R 東海丹羽俊介社長が就任初記者会見。 静岡市長選において前県副知事の難波喬司氏が初当選。 I R 東海丹羽新社長が静岡県庁に川勝県知事を訪問・会談。 静岡県大井川流域10市町が水・環境問題の解決に国の関与を求める要望書を国土交通省に提出。			5.3.29	県がJ R 東海の下條村陸沢に設置する残土置き場に関する環境保全計画に対し、助言を通知。 J R 東海が豊丘村戸中発生土置き場、坂島発生土仮置き場の住民説明会を開催(村保健センター)。
5.4.6 5.4.9 5.4.12 5.4.20	J R 東海の2023年3月期決算が純利益で3年ぶりの黒字回復。			5.4.20 5.4.21 5.4.22	中央アルプストンネル松川工区で作業員が捻挫をする労災事故が発生。 伊那山地トンネル青木川工区の現場で作業員が骨折する労災事故発生。 J R 東海が住民説明会を開催(丸山公民館)。 ・風越山トンネル黒田工区の作業ヤード設置が完了し斜坑掘削に入る
5.4.26	J R 東海の2023年3月期決算が純利益で3年ぶりの黒字回復。			5.4.26	飯田建設事務所が工事説明会開催(上郷公民館)。 ・県道飯場桜町線の工事概要を説明 リニア南アルプストンネル長野工区の作業現場で作業員が骨折する労災事故が発生。
5.5.8 5.5.10	J R 東海のゴールデンウィーク中の東海道新幹線利用が前年比26%増。コロナ前2018年を1%上回る。 北品川工区で停止していたシールドマシンによる調査掘削を再開。				

国・県外・ＪＲ東海の動き		長野県内の動き		飯田下伊那地域の対応	
5. 5. 11	長崎幸太郎山梨県知事がＪＲ東海丹羽社長と意見交換。			5. 5. 24	ＪＲ東海が工事説明会を開催。 ・竜東一貫道路沿い高架橋工事についての説明
5. 5. 30	ＪＲ東海が山梨県富士川町で完成した高架橋を住民・報道陣に公開。			5. 5. 25	ＪＲ東海が工事説明会を開催。 ・壬生沢坑口近くの豊丘変電所の用地造成に関する工事説明会
5. 5. 31	リニア沿線10都道府県で構成するリニア中央新幹線建設促進期成同盟会が総会を東京都内で開催。 ・早期の全線整備を求める決議を採択			5. 5. 30	ＪＲ東海が工事説明会を開催。 ・豊丘・喬木村間の壬生沢側高架橋の工事について説明
5. 6. 12	長野県がＪＲ東海に対し、中央アルプストンネル松川工区の労災事故について、緊急時の連絡体制に基づき迅速な報告と安全管理の徹底を文書で申し入れる。			5. 5. 31	労災事故で中断していた中央アルプストンネル松川工区で掘削作業が再開される。
5. 6. 17	相模原市橋本駅前のリニア神奈川県駅工事を見学できる「さがみはらリニアひろば」がオープン。			5. 6. 8	喬木村リニア対策委員会開催。 ・阿島北高架橋ほか新設区間の工事概要を説明
5. 6. 22	ＪＲ東海が大井川水問題で、田代ダムから取水している水の一部を大井川へ戻すための協議を東京電力と開始したことを発表。			5. 6. 15	ＪＲ東海が阿智村清内路地区で住民説明会を開催。 ・萩の平やーのの残土置き場「坊主ヶ島」の概要計画を説明
5. 6. 26	ＪＲ東海が県盛り土規制条例に基づく残土置き場2件について県へ認可申請。 ・下久堅と豊丘村戸中の残土置き場			5. 6. 18	ＪＲ東海が座光寺地区で工事説明会を開催。 ・天竜川橋梁(飯田側)の工事概要を説明
				5. 6. 20	大鹿村リニア連絡協議会開催。 ・陽羽策士の処分についてＪＲ東海が説明
				5. 6. 21	阿智村リニア対策委員会開催。 ・村道改良工事で出た廃棄物の処理について村が対応を説明 ・ＪＲ東海が残土置き場の管理計画を説明
5. 6. 27	ＪＲ東海がリニア中央アルプストンネル尾越工区と天竜川橋梁(飯田側)の工事について環境保全計画を公表。				
				5. 7. 20	松川町リニア対策委員会開催。 ・発生土を活用した前河原道路新設工事の残土置き場について説明
5. 7. 25	ＪＲ東海がリニア第一首都圏トンネル小野路工区でシールドマシンの調査掘進を開始。				
5. 7. 28	ＪＲ東海の2023年4～6月期連結決算は純利益が前年同期比92.7%増となったことを発表。			5. 7. 26	上郷北条地区でリニア関連事業説明会開催。 ・駅橋脚の基礎工事を今秋に実施することを説明
5. 8. 10	県がＪＲ東海に対し、ＪＲ東海が発表した天竜川橋梁工事を環境保全計画に対する助言を公表。 ＪＲ東海が豊丘村の豊丘変電所敷地造成工事についての環境保全計画を公表。				
5. 8. 18	ＪＲ東海がお盆期間中(10～17日)の東海道新幹線の利用が前年比25%増だったことを発表。			5. 7. 30	飯田市がリニア発生土を活用した飯田山本インター産業団地の説明会を開催。
5. 8. 30					
5. 9. 26	ＪＲ東海がリニア新幹線の運用に備えたトンネル検査ロボットの新機を公開(ＪＲ東海小牧研究施設)。			5. 9. 4	リニア天竜川橋梁(飯田側)の準備工事に着手。 大鹿村リニア連絡協議会開催。 ・鷹ヶ巣の要対策土(蛇紋岩)対応方針を説明 ・「南ア・伊那山地トンネルの掘削は26年11月完了に変更ない」とを表明
				5. 10. 2	リニア天竜川橋梁の飯田市の下部工事を着工。
				5. 10. 3	長野労働局長がリニア伊那山地トンネル戸中・壬生沢工区で現場点検を実施。
				5. 10. 4	松川町リニア対策委員会を開催。 ・南アトンネル発生土の町内における運搬計画を説明

国・県外・ＪＲ東海の動き		長野県内の動き		飯田 下伊那地域の対応	
5. 10. 6	ＪＲ東海が、東京北品川工区でシールドマシンの不具合により掘削が中断していることを発表。			5. 10. 13	国道153号飯田北改良で、新戸川ボックスカルバート工に伴う迂回路通行が開始。
5. 10. 13	ＪＲ東海が、リニア本線工事での初めての貫通となる山梨県富士川町の第一南巨摩トンネルの貫通式を執行。			5. 10. 7	リニア長野県駅(仮称)工区の土曽川橋梁基礎工事を着工。
5. 10. 20	国土交通省がリニア新幹線大阪全線開業により、静岡県内に停車する東海道新幹線が現状の1.5倍程度になるとする調査結果を発表。	5. 10. 20	中央アルプストンネル尾越工区(南木曽町)で同町初の工事となる斜坑掘削を開始。		
5. 10. 25	ＪＲ東海が、リニア南アトンネルの静岡県内の水が県外流出する対策として、田代ダムの取水抑制による対応案について東京電力との協議を踏まえた実施案を示す。	5. 10. 27	県が伊那山地トンネル豊丘変電所敷地造成工事の環境保全計画について、ＪＲ東海に対し「助言」を通知。	5. 10. 21	上郷北条地区でリニア関連事業説明会開催。 ・駅工区の「竜西一貫水路付替え」「土曽川橋梁」「新戸川付替え」を先行して着手する
5. 10. 30	ＪＲ東海が2023年中間連結決算を発表。 ・新幹線運輸収入は対前年同期比で34%増。コロナ前の18年度同期比で92.4%まで回復となる	5. 11. 2	ＪＲ東海が南木曽町に造成する発生土置き場の環境保全計画を公表。		
5. 11. 6					
5. 11. 7	リニア中間駅4件の知事が地域活性化・開業時期の明確化に向けた国の支援を岸田首相に要望(首相官邸)。 ・ＪＲ東海がリニア中央新幹線対策協議会が開催。	5. 11. 7	南木曽町リニア中央新幹線対策協議会が開催。 ・ＪＲ東海がリニア発生土を御坂ＳＩＣの工事に活用する計画を説明		
5. 11. 28	川勝静岡県知事が大井川水問題について、田代ダムの水によるＪＲ東海の対策案を容認することを表明。	5. 11. 17	県と飯田市が「リニア駅アクセス検討会議」と「リニア駅前広場活用検討会議」全体会を開催(飯田市役所)。 ・来年7月に準備工事着手	5. 12. 5	ＪＲ東海がクララ沢廃土置き場に関する工事説明会を開催(清内路公民館)。 ・来年7月に準備工事着手
5. 12. 7	丹羽ＪＲ東海社長が名古屋以西(三重・奈良県)の環境影響調査に着手したことを表明。				
5. 12. 8	斎藤国土交通大臣がＪＲ東海社長に国有識者会議の報告書に基づき適切に対策を実施するよう要望。				
5. 12. 14	ＪＲ東海がリニア品川一名古屋間の開業時期について「27年以降」とする工事実施計画を国交省に提出。 ・「27年開業は困難」と後倒しの可能性を織り込む	5. 12. 15	阿部県知事が定例会見で、リニア新幹線開業時期の変更について「具体的な年次が示されないのは残念」とし、ＪＲ東海に地域との丁寧な対話、地域の声を踏まえた対応を求める。	5. 12. 20	県ＤＸ推進課・地域振興課・リニア整備推進局主催の「リニアと空飛ぶクルマがもたらす可能性を探るワークショップ」が開催される(エス・バード)。
5. 12. 21	丹羽ＪＲ東海社長が大井川水対策として田代ダム取水抑制について東電と基本合意に達したことを発表。	5. 12. 21	県内市町村長とＪＲ東海幹部との意見交換会を開催 ・ＪＲ東海が開業時期を「2027年以降」としたことにつき、		県内市町村長とＪＲ東海幹部との意見交換会を開催(県飯田合同庁舎)。 ・県内工事は「引き続きペースダウンすることなく取り組む」考えを示す
				5. 12.	トンネル発生土を活用した松川町生田の福与河原圃場整備事業について、福与区、施工組合、ＪＲ東海による覚書を取り交わす。
				5. 12. 22	大鹿村リニア連絡協議会開催。 ・ＪＲ東海が要対策土を小笠川変電所の工事に活用する方針を示す
		5. 12. 23	中川村小和田地区でリニア発生土を使った堤防整備・基盤整備の着手式を挙行。	5. 12. 23	「次世代モビリティインフラ」が開催される(飯田産業センター)。
<2024>					
6. 1. 15	ＪＲ東海が川崎市百合丘非常口のシールドマシン工事現場を報道機関に公開。			6. 1. 10	松川町リニア中央新幹線対策委員会開催。 ・発生土の活用事業等説明、検討

国・県外・ＪＲ東海の動き		長野県内の動き		飯田下伊那地域の対応	
6. 1. 22	国の有識者会議が静岡市を訪問し難波静岡市長と意見を交換。			6. 1. 16	ＪＲ東海が座光寺地区でリニア関連事業の説明会を開催。 ・座光寺高架橋、保守基地、アクセス道路等関連事業について説明
6. 3. 1	国が新設したＪＲ東海の環境対策のモニタリングを行う有識者会議が初会合を開催。	6. 1. 31	伊那谷自治体会議が「リニア開業を見据えまちづくり講演会」を開催（座光寺エス・バード）。	6. 1. 30	豊丘村リニア対策委員会開催。 ・要対策土の処理方針などを説明
		6. 3. 11	県がＪＲ東海の2022年度実施の環境調査に対する「助言」を同社に通知。	6. 2. 9	リニア中央新幹線建設促進飯伊地区期成同盟会定期総会開催。 ・リニア早期開業などを決議
				6. 2. 14	阿智村リニア対策委員会開催。 ・発生土の七久里地区における活用方法などを説明
				6. 2. 28	ＪＲ東海が上郷・座光寺地区で工事説明会開催。 ・要対策土を土魯川橋梁基礎工事に活用方法など説明
				6. 3. 11	飯田市が「2024年版リニア推進ロードマップ」をリニア推進特別委員会に示す。 飯田市がリニア用地取得事務の受託を26年３月末まで2年延長することを発表。 下條村リニア対策協議会開催。 ・ＪＲ東海が発生土を陸沢地区に埋め立てる工事について説明
6. 3. 21	ＪＲ東海が南アルプストンネル長野工区と伊那山地トンネル青木川工区について、2026年度工期内の掘削完了と認識を示す。			6. 3. 26	松川町リニア建設工事対策委員会開催。 ・要対策土を町内を經由し県駅方面へ搬送するルートを説明
6. 3. 29	ＪＲ東海が国の有識者会議において、リニア新幹線の開業が大幅に遅れ、開業は2034年以降になるとの認識を示す。	6. 3. 27	伊那谷自治体会議をオンラインで開催。 ・駅周辺の活性化支援策について意見交換		
6. 4. 2	川勝静岡県知事が県庁内で辞意を表明。	6. 4. 1	阿部県知事が定例会見でリニア新幹線の開業時期延期が発表されたことを「残念なこと」とした上で、早期着工と関係地域・市町村への丁寧な対話、地域の声を踏まえた対応を求める。		
6. 4. 3	川勝静岡県知事が辞任会見。「リニア問題に区切りを迎え、仕事が一段落」。				
6. 4. 3		ＪＲ東海が阿智村清内路に造成する残土置き場の環境保全計画を公表。			
6. 4. 4		ＪＲ東海が座光寺高架橋の工期が2031年内の完成を目指すことを表明（飯田市内）。			
6. 4. 5					
6. 4. 8	齋藤国土交通大臣が早期開業に向けた環境整備を進めることを表明。 ＪＲ東海がリニア第一中京圏トンネルの名城非常口、坂下非常口から調査掘進を開始。 シールドマシンの不具合で中断していた第一首都圏トンネル北品川非常口でも調査掘進を再開。	6. 4. 10	県環境影響評価技術委員会がＪＲ東海の提出した中央アルプストンネル工事のクララ沢残土置き場の環境保全計画を審議。		
6. 4. 19		ＪＲ東海がリニア長野県駅の本体工事が予定より遅れており、工期を延長する可能性を南信州広域連合会議に説明。			
6. 4. 22		阿部長野県知事とＪＲ東海丹羽社長が会談（長野県庁）。 ・リニア開業時期を早期に示すこと、長野県駅への1時間複数本の停車などを要望			

国・県外・ＪＲ東海の動き		長野県内の動き		飯田下伊那地域の対応	
6. 5. 13	静岡県専門部会がリニア南アルプストンネルの山梨県側からのボーリング調査を承認。			6. 5. 13	J R東海が阿智村で住民説明会開催。 ・中央アルプストンネル広瀬工区と尾越工区からの発生土を運搬する計画を説明
6. 5. 16	岐阜県瑞浪市で井戸の水位低下を受けJ R東海が工事を一時中止しボーリング調査を実施することを発表。			6. 5. 29	公財) 中部圏社会経済研究所が「中山間地域振興シンポジウム」を開催(市内シルクホテル)。 ・リニア開通を見据えた三遠南信地域の振興について意見を交換
6. 5. 20	J R東海がリニア南アルプストンネル山梨工区で中断していたボーリング調査を再開。			6. 6. 4	J R東海が大鹿村で住民説明会を開催。 ・大鹿村2工区の工期が最大4年近く遅れるとの見通しを示す
6. 5. 26	鈴岡県知事選が投票開票され、新人の鈴木康友氏が当選。			6. 6. 10	下条村リニア関連工事対策協議会開催。 ・村内に置く発生置き場の準備工事に着手することを報告
6. 6. 5	静岡県鈴木新知事とJ R東海丹羽社長が初の会談(静岡県庁)。 ・リニア着工に向けて連携することを確認	6. 6. 10	県がJ R東海が阿智村クララ沢に設置する発生土置き場についての環境保全計画に対する助言を送付。	6. 6. 23	J R東海が喬木村で工事説明会を開催。 ・阿島北高架橋ほか新設区間の工期を3年程度延長する方針を示す
6. 6. 7	リニア中央新幹線建設促進進期成同盟会が総会を東京都内で開催。			6. 6. 25	J R東海が北条地区住民懇談会開催。 ・リニア駅工区の工期を5年9月延長し31年12月までとする見通しを示す
6. 6. 18	山梨県、静岡県とJ R東海がリニア南アルプストンネル山梨工区の静岡県境付近の高速長尺先進ボーリング調査再開について合意。	6. 6. 28	県議会6月定例会でリニア中央新幹線の一刻も早い開業を求める意見書案を全会一致で可決。	6. 6. 26	大鹿村リニア連絡協議会開催。 ・J R東海が南アルプストンネルが28年末、伊那山地トンネルが28年3月末まで延びる見通しを示す
6. 7. 23	静岡県鈴木知事と大井川流域10市町首長とリニア中央新幹線に関する意見交換会を開催。 J R東海が2024年4～6月期連結決算を発表。 ・純利益が前年同期比32. 3%増の1, 197億円となる	6. 7. 4	中川村リニア対策協議会開催。 ・J R東海がリニア工事の遅れに伴う村内のダンプ通行計画を説明	6. 7. 23	J R東海が上郷北条で住民説明会を開催。 ・駅工区の工期を5年9月延長する計画を説明
6. 7. 30		6. 7. 8	木曽郡木曽町からの発生土を飯伊向け運搬を開始。	6. 7. 31	飯田商工会議所原会頭がリニア中央新幹線飯田・名古屋間の先行開業をJ R東海に働きかけることを表明。
6. 8. 9				6. 8. 5	リニア中央アルプストンネル松川他工区で資材運搬モノレールから火災発生。
6. 9. 9	政府がリニア沿線の将来像を示す「新たな圏域形成の間取りまとめ」を発表。 J R東海が愛知県の第一中京圏トンネル西尾工区の工期が最大5年半遅れるとの見通しを発表。			6. 8. 22	J R東海が阿智村清内路地区で住民説明会を開催。 ・秋の平非常口の斜坑掘削を2025年秋にも掘削開始する方針を示す
6. 9. 13					
6. 9. 17	静岡県がJ R東海に対し、南アルプストンネル静岡工区でのボーリング調査を承認することを伝える。				
				6. 9. 17	J R東海が切石区で住民説明会を開催。 ・中央アルプストンネル松川工区のトンネル掘削完了が約3年半遅れる ・松川橋梁は両岸の地質状況を踏まえ構造を見直す
		6. 9. 27	県間環境影響評価技術委員会開催。 ・J R東海の要対策活用・安全対策などの環境保全計画を審議。継続審議となる	6. 9. 20	大鹿村リニア連絡協議会開催。 ・J R東海が要対策土の搬送を12月から開始することを説明

国・県外・J R 東海の動き		長野県内の動き		飯田 下伊那地域の対応
6. 10. 5	鈴木静岡県知事がリニア南アトシネルボーリング調査現場を初めて視察（山梨県早川町、長崎山梨県知事と同行）。		6. 10. 3	飯田市が東京都品川区と「災害時における相互援助に関する協定」締結。
6. 10. 6	リニア新幹線の環境保全策を確認する国交省の有識者会議が大井川流域10市町他と意見を交換（島田市）。			
6. 10. 15	J R 東海がリニア中京圏第一トシネル坂下西工区でシールドマシンによる調査掘進が完了したことを発表。			
6. 11. 5	J R 東海がリニア第一首都圏トシネル北品川工区のシールドマシンによる調査掘進（270m）が完了したことを発表。		6. 11. 5	喬木村リニア中央新幹線対策会議を開催。 ・ J R 東海が工事進捗状況等を説明

J R 東海リニア中央新幹線環境影響評価書、J R 東海H P、飯田市リニア推進部資料、飯田商工会議所資料、各新聞記事から抽出し、当金庫リニア対策室で作成